張り形平次
●はりがたへいじ●
長田 要

囚

contents

P003 第一話

P023 第二話

P043 第三話

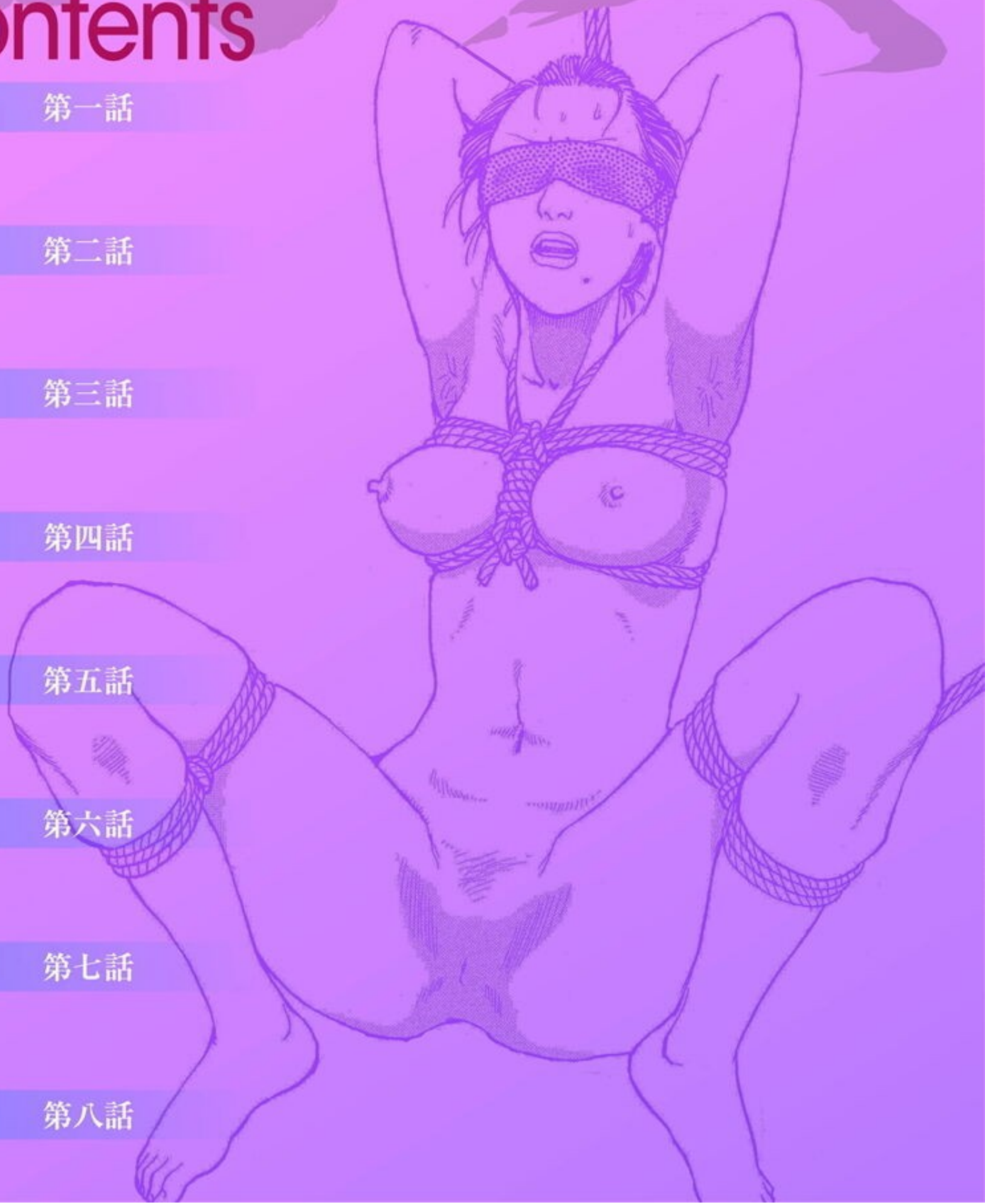
P063 第四話

P083 第五話

P103 第六話

P123 第七話

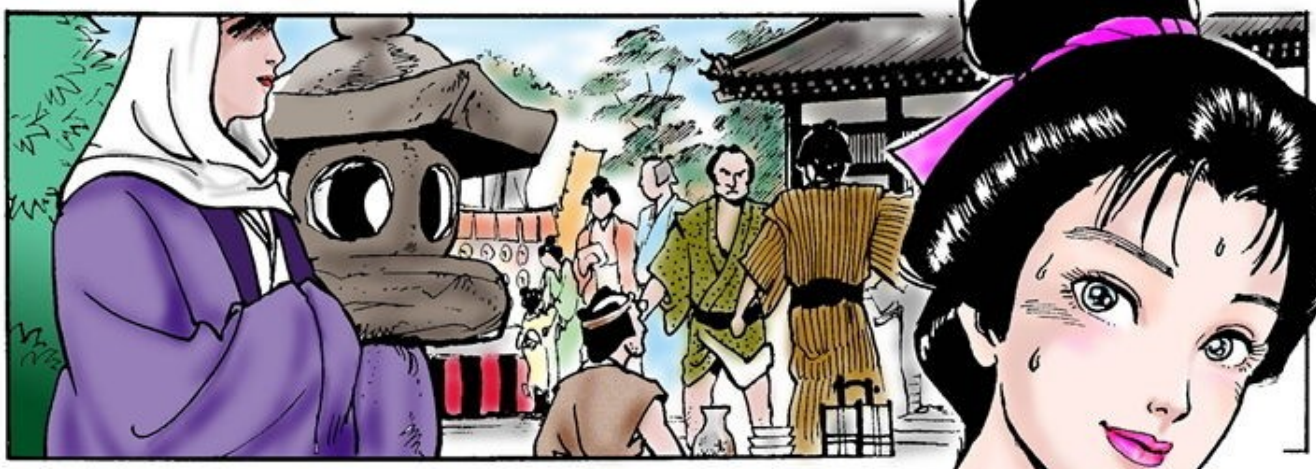
P143 第八話



第一話

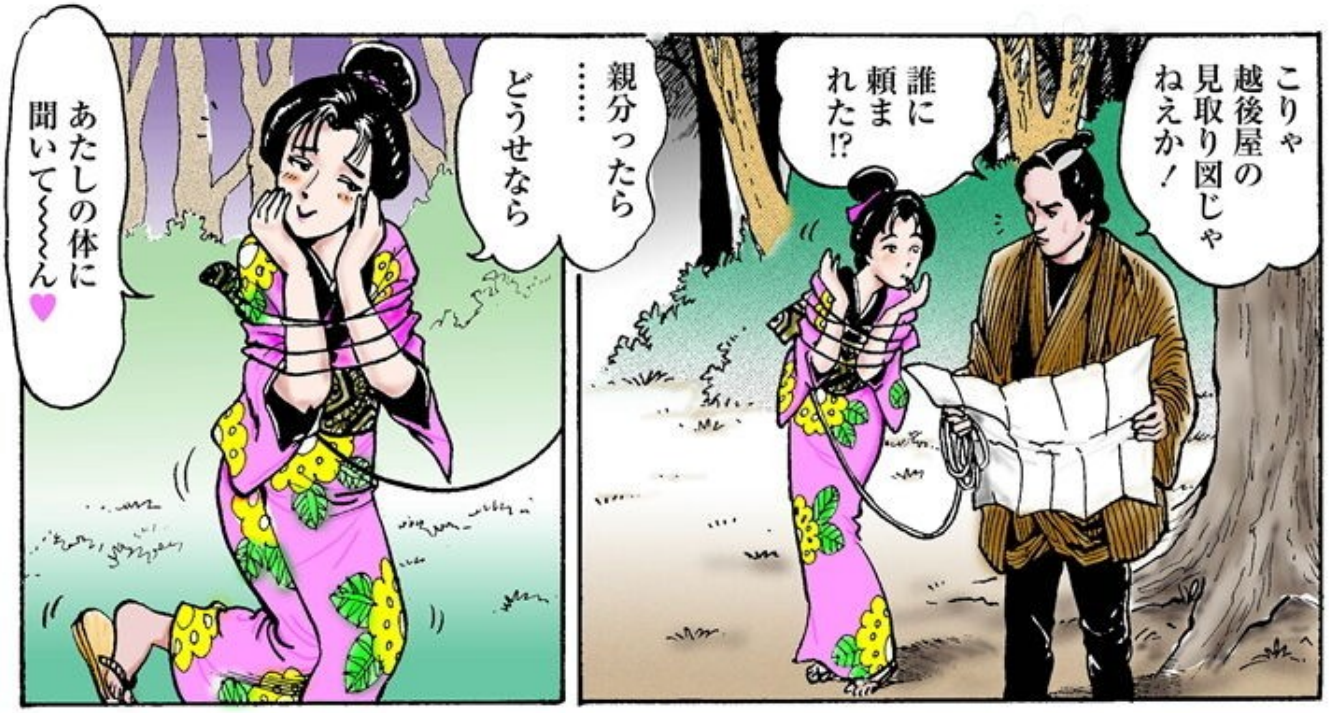
クソォ
あのガキ……
どこへ
行きやがった
!?

山猫不動尊



また
悪いクセを
出したな!?
お蝶(ちょう)……
はっ!?
あ…
やば…
うっ!
ヒュ〜

やん
ばしっ
!!
あ〜〜ん
張り形の
親分！
見逃してえ！
ダメだ！
あたしは
頼まれた
だけなのよぉ
〜〜っ！
ウソこけ！
あの男から
それを
スリ盗って
ほしいって
……
?!


こりゃ越後屋の見取り図じゃねえか！
誰に頼まれた!?
親分ったら……どうせなら
あたしの体に聞いて～～～ん♥

な……なんだァ!?
お願い……♥

あぁっいい～～～っ！

この野郎喜んでどうする！
だっていいんだもん！

さァ
早く吐い
ちまえ！
いやっ
いわない！
ギ
ギ
ミ
くちゅ
くちゅ
てめえ
ふざけるなよ！
ああっ
！
ズン
ニュ
ニュ
ニュ
ニュ
ダ…ダメッ
そ…そんなに
激しく
したら……
い…
いっちゃう——っ
あん
抜いちゃ
いやァ！
どこの誰に
頼まれたんだ
!?
ヌポ

親分ので……
やってくれたらいうわ……
このォ！
ズン
あう〜〜っ！
い…いやっ親分の……
親分のがいい〜〜っ！
しようがねえな……ほらっ話してみ！
へ…変な尼さんと……
こわもてのお坊さんよ……
……で受け渡しの場所は!?
あううっ！
ズドーン

日尊寺
はい……
注文の品よ！
さすがは
千両指のお蝶
……
噂にたがわぬ
腕前ね……
礼金は!?

ここに用意してある
たったの五十両!?
不服ですか!?
越後屋といえば大店(おおだな)だよ!
倉にはなん千ってお宝があるはず……
そんなはした金じゃ渡せないわね!
あんまり欲をかくもんじゃねえぜ!
本性をあらわしたね……
どうせあんたたち盗人かなにかだろ!?
ムク…
このガキィ!

シュ
ガニッ
!!
は…八郎太！
ほう……
坊さんの名が八郎太かい!?
!?
ついでにあんたの名も聞きてえなァ……尼さんよ！
親分格好いい！

ビュー
?!
しまい
ヒュン
ヒュン
!
ビシッ
くっ……
あっ
いいなァ♥

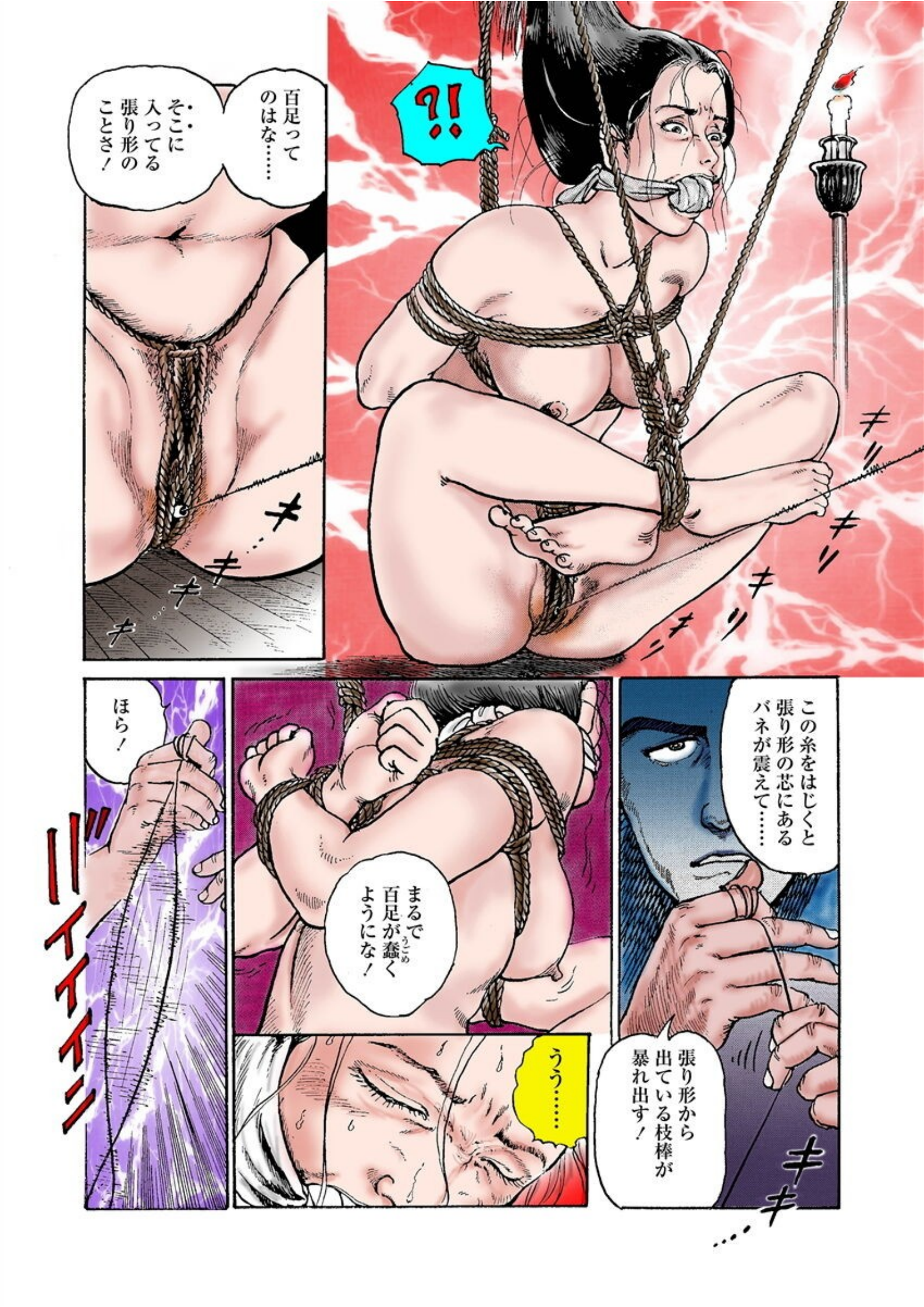
う……うう……

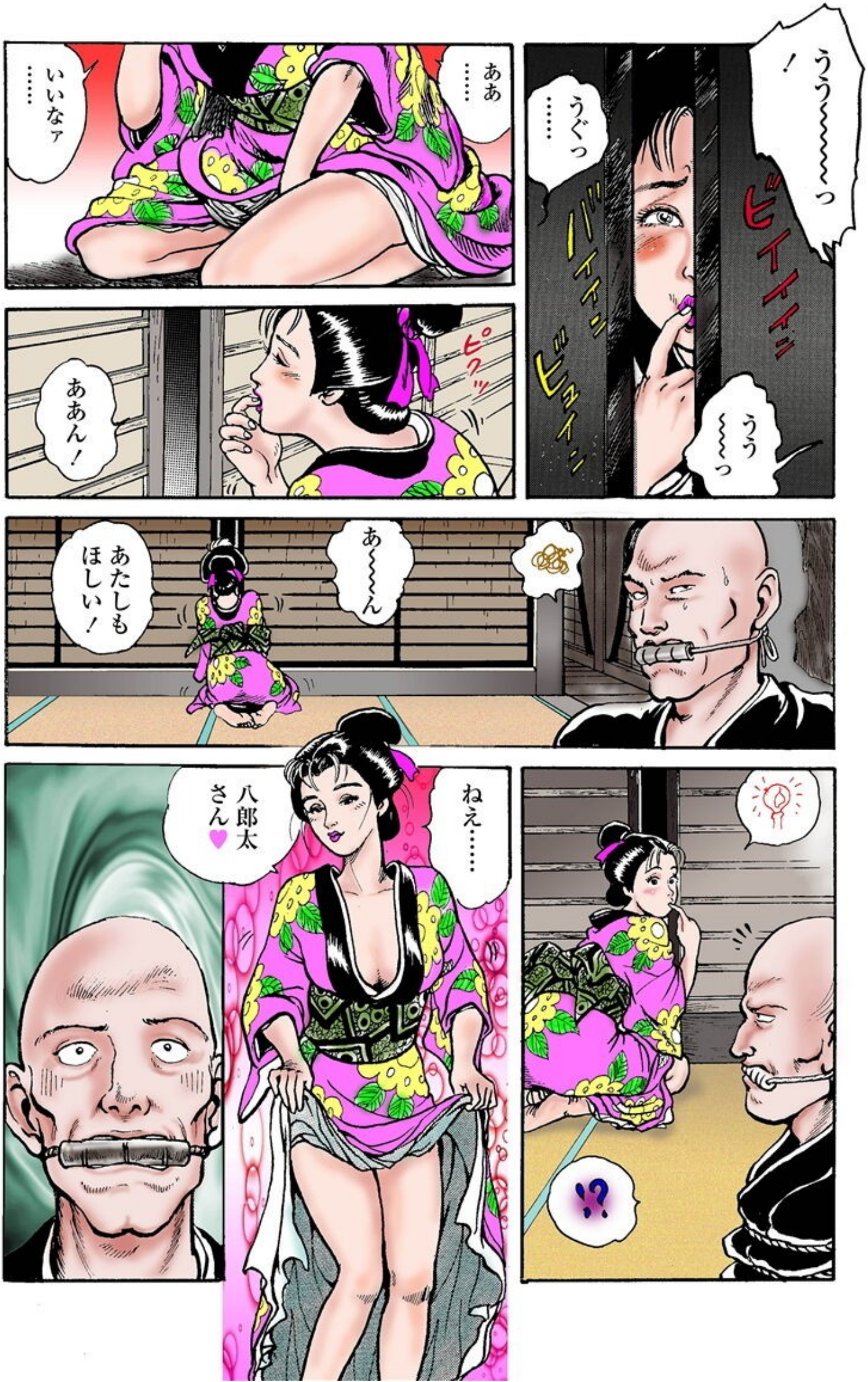
これじゃ……
なんにもしゃべられないんじゃない!?
息があがれば血の気がうせる……
頭の中を真っ白にするにはこれが一番なのさ

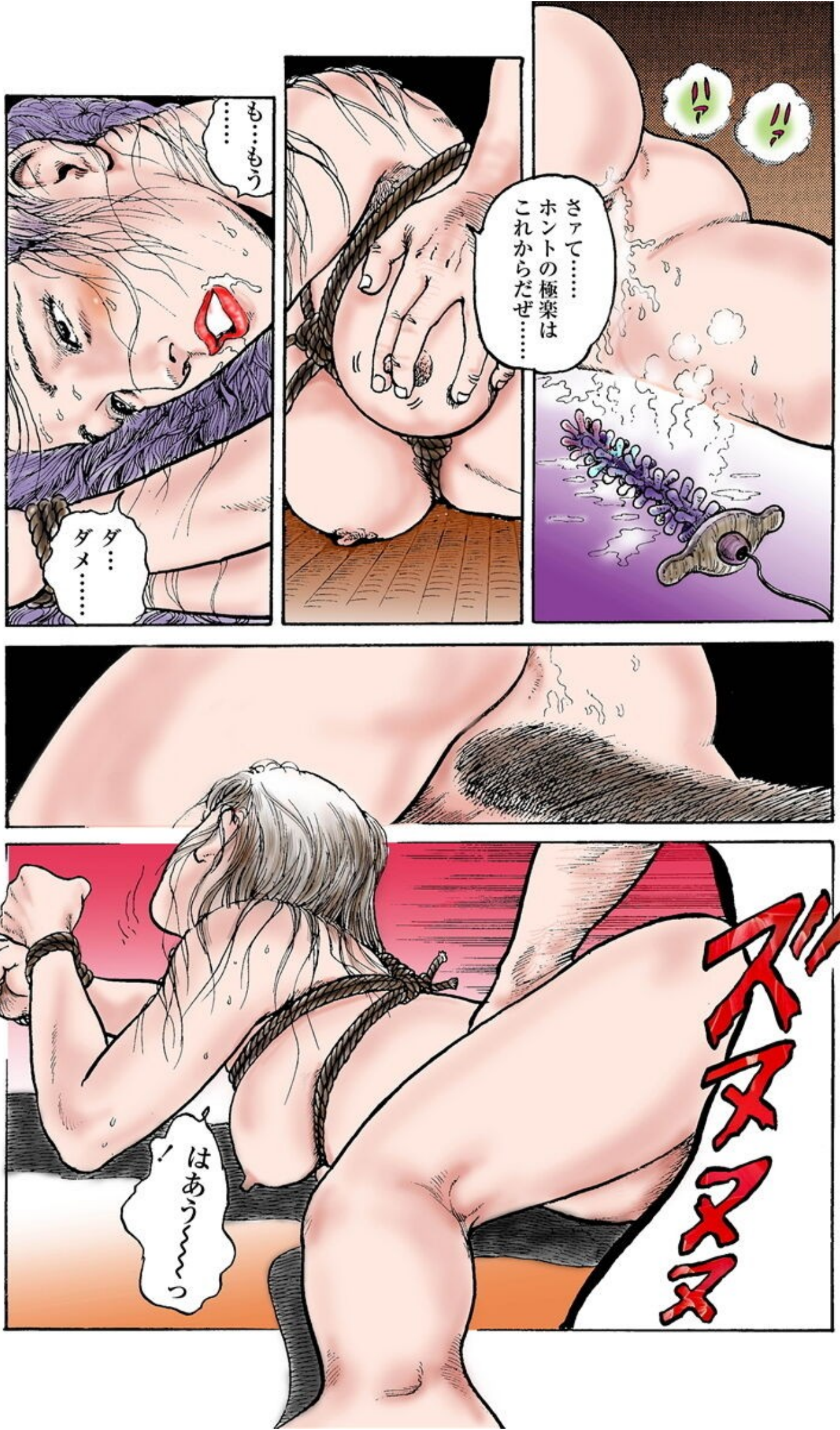
そのうえに百足(ムカデ)がザワザワと……
きゃ〜〜〜っ楽しそう!

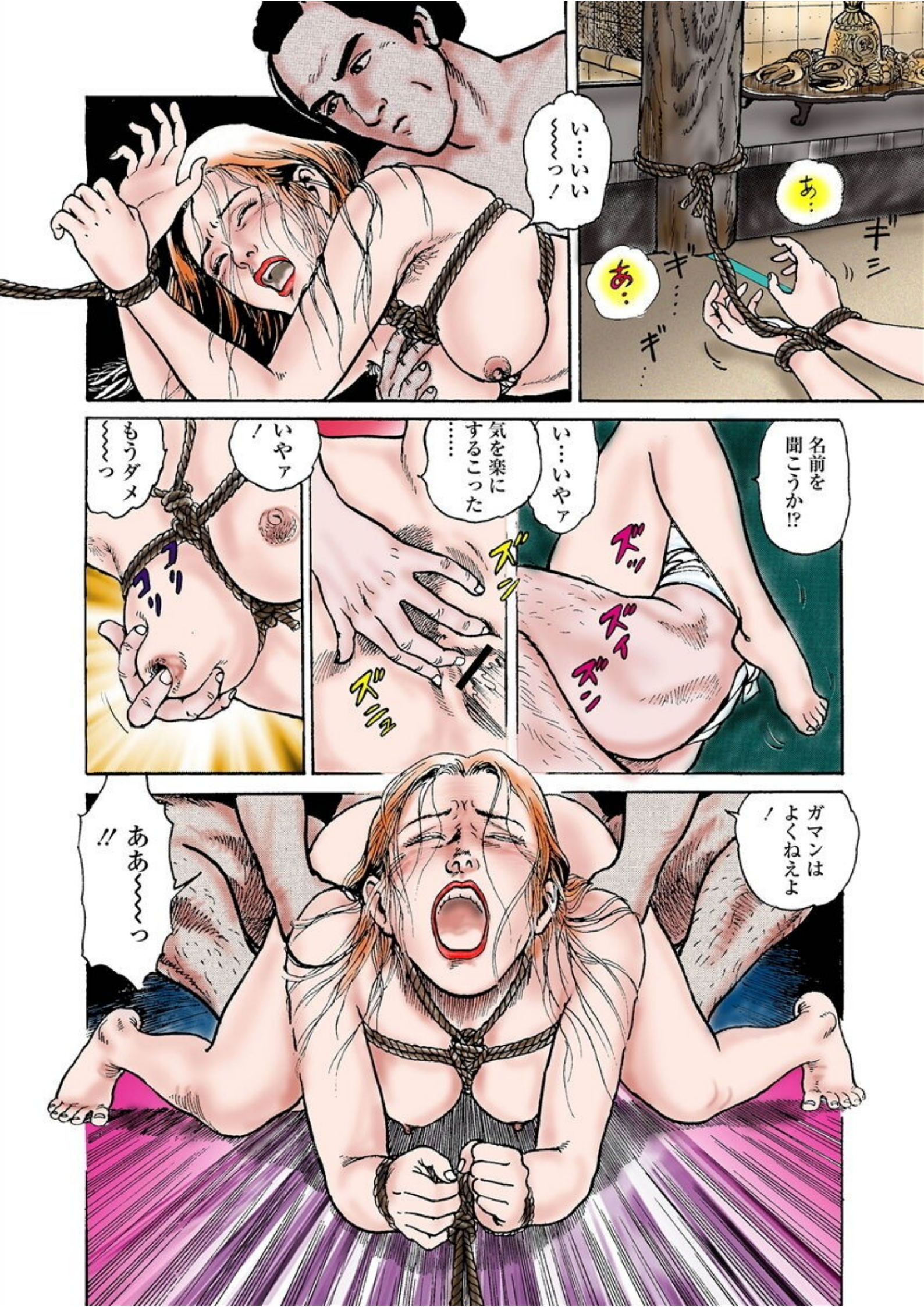
今度あたしにもやってね♥
おまえあっち行ってろ!

きっと病みつきになるわよ!

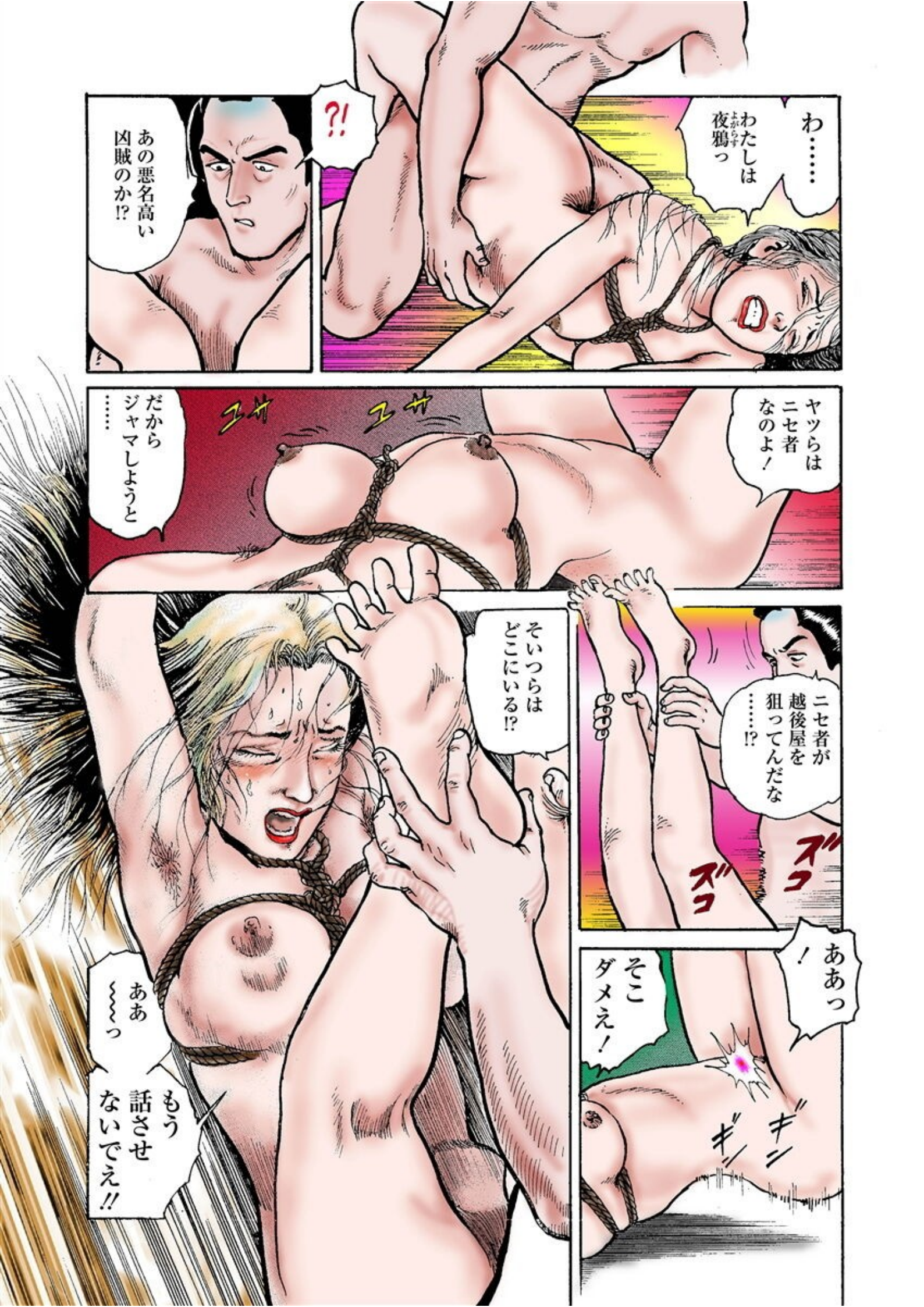

?!
百足ってのはな……
そ・・こに入ってる張り形のことさ！
この糸をはじくと張り形の芯にあるバネが震えて……
張り形から出ている枝棒が暴れ出す！
キキ……
まるで百足が蠢くようにな！
うう……
ほら！
イイイン

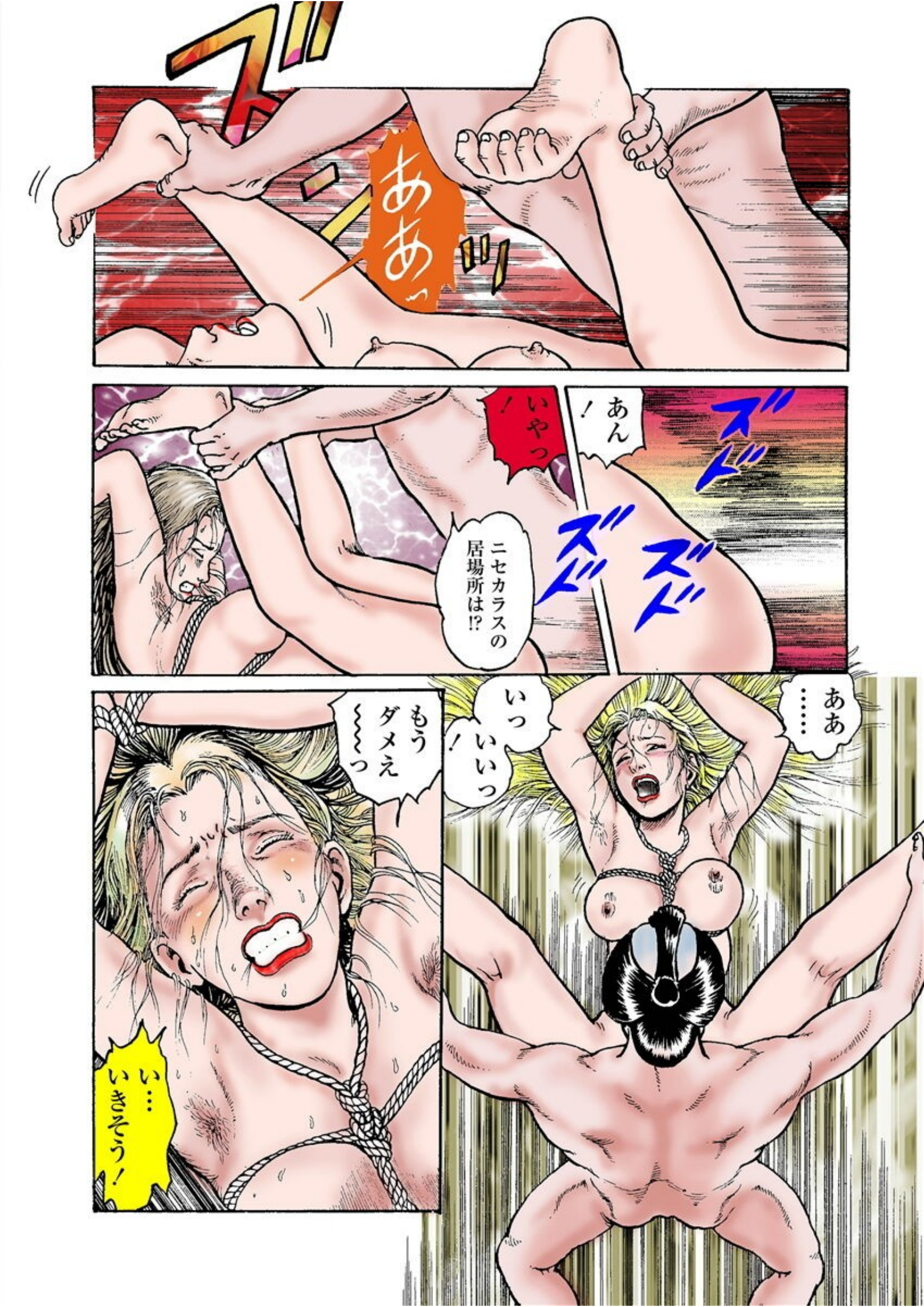

うう〜〜〜っ！
ビィィィン
うぐっ……
バィィィン
ビョィィン
うう〜〜っ
ああ……
いいなァ……
ピクッ
ああん！
あ〜〜ん
あたしもほしい！
ねえ……
八郎太さん♥
!?


ハァ
ハァ
さァて……
ホントの極楽は
これからだぜ……
も…もう
……
ダ…
ダメ……
ズヌヌヌ
はあう～～～っ！

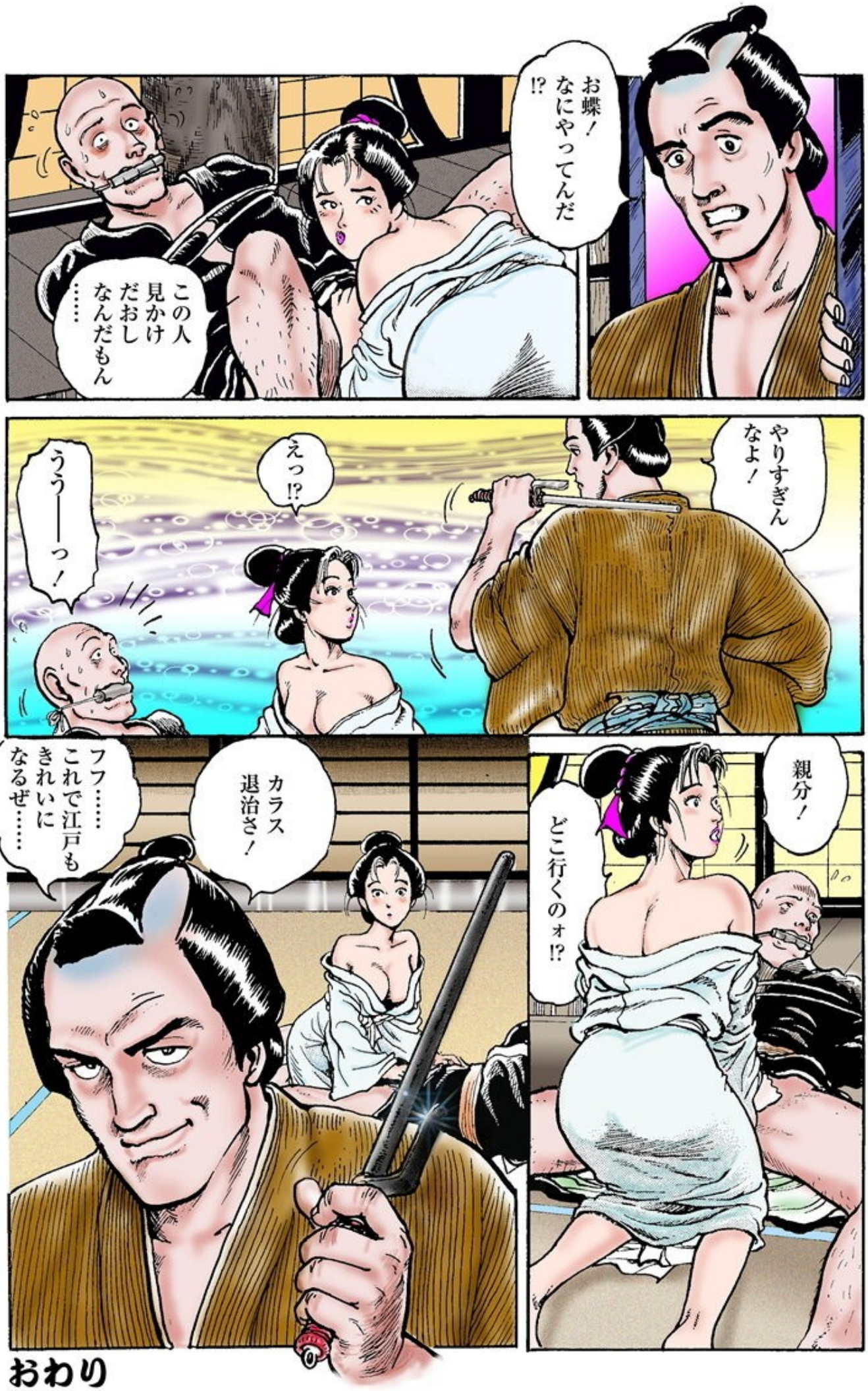


あ…
ギシ
ギ…
あ…
ギ…
い…いい〜〜〜っ！
名前を聞こうか!?
ズッ
ズイ
ズン
い…いやァ
気を楽にするこった……
ズン
ズシュ
いやァ！
もうダメ〜〜〜っ
コリ
コリ
ガマンはよくねえよ！
ああ〜〜〜っ!!


わ……
わたしは夜鴉(よがらす)っ
?!
あの悪名高い凶賊のか!?
ヤツらはニセ者なのよ！
だからジャマしようと……
ニセ者が越後屋を狙ってんだな……!?
そいつらはどこにいる!?
ああっ！
そこダメえ！
ああ〜〜っ
もう話させないでえ!!


ズ
ああっ
ズドズドズドズド
あん！
いやっ！
ニセカラスの居場所は!?
ああ……
いっいいっ！
もうダメえ〜〜っ
い…いきそう！

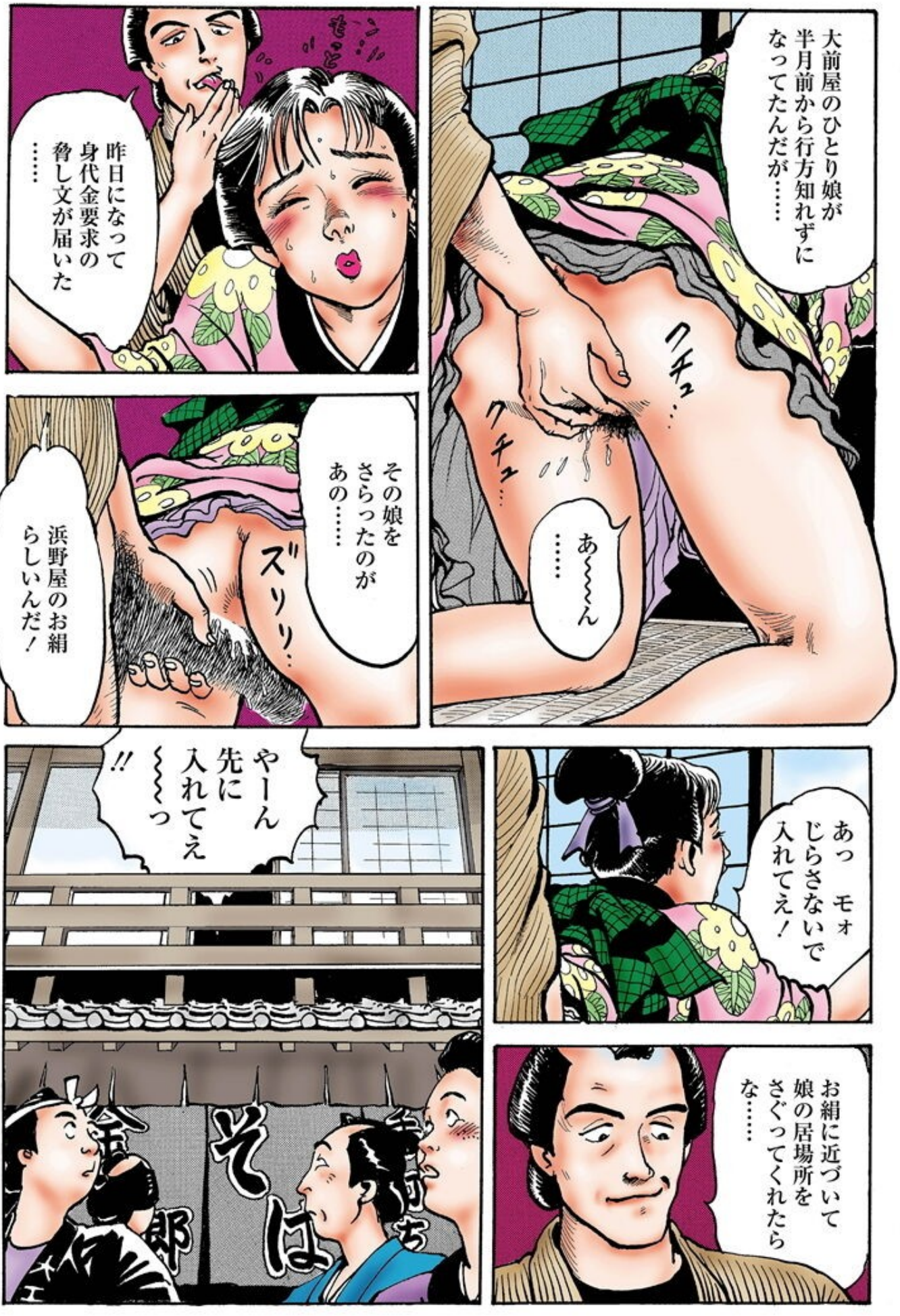
あっ　はああ〜〜っ
いくう――っ！
ドピュ
あっ……
フウ……
なによォ！
また
ひとりで先に……
許さない
もう一回！
ひい〜〜っ
チュポ
チュポ


お蝶！なにやってんだ!?
この人見かけだおしなんだもん……
やりすぎんなよ！
えっ!?
うう――っ！
親分！どこ行くのォ!?
カラス退治さ！
フフ……これで江戸もきれいになるぜ……

おわり

第一話

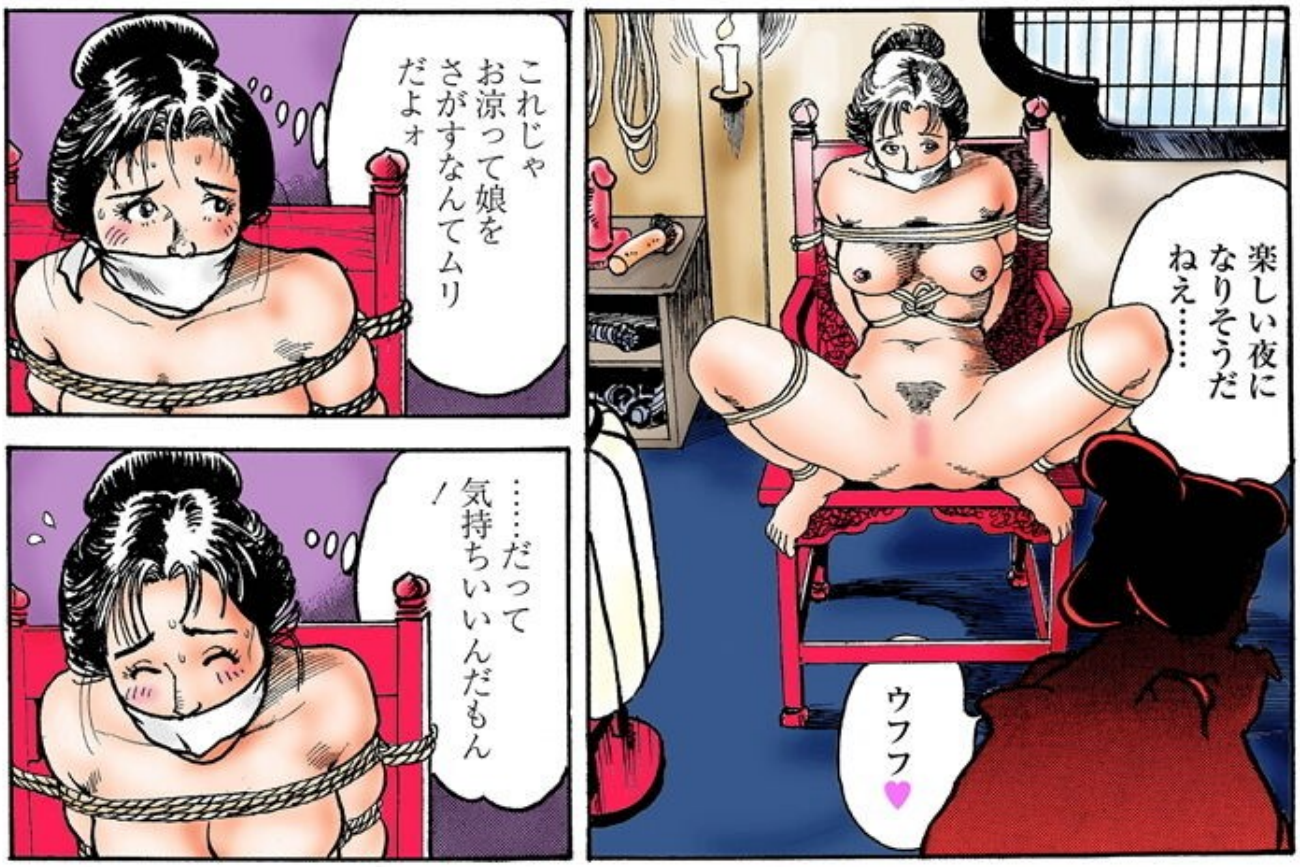
呉服問屋 浜野屋
呉服問屋 浜野屋
今晩は寮に泊まるからあとは頼みましたよ！
はい！行ってらっしゃいまし！
浜野屋の女主人お絹とその用心棒だ！
若え娘を嬲るのが道楽ってえ女だ！
おまえの器量なら喜んで嬲ってくれるだろうなァ！
やだァ～～っ親分ったらァ……

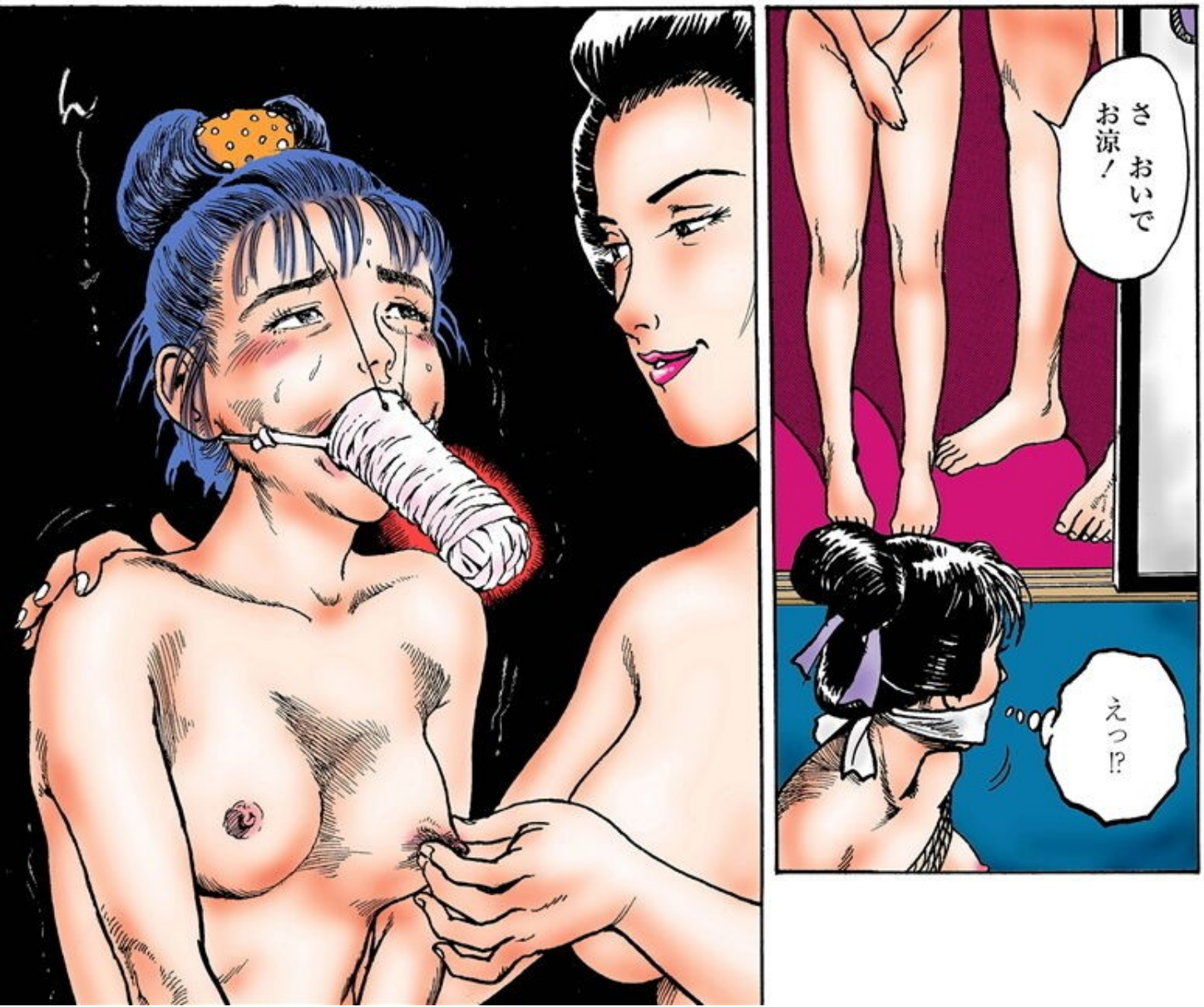

大前屋のひとり娘が
半月前から行方知れずに
なってたんだが……
クチュ…
クチュ…
あ～～ん
……
昨日になって
身代金要求の
脅し文が届いた
……
その娘を
さらったのが
あの……
ズリリ…
浜野屋のお絹
らしいんだ！
あっ　モォ
じらさないで
入れてえ！
お絹に近づいて
娘の居場所を
さぐってくれたら
な……
やーん
先に
入れてえ
～～っ
!!
そ
は
金
即
ち

娘の名はお涼……
半年前　お絹と知りあって以来……
快楽の虜にされちまった……
わァうらやましい♥
だが女同士の遊びに男を使い始めたのが間違いよ！
どういう理由かタチの悪い侍を信用しちまってな……
えっまさかあの用心棒が脅し文を!?
証(あかし)はねえけどな……
おっときたぜ！うまくやれよお蝶！
スリ損(そこ)ねはこの千両指の名折れだけど……
虐めてもらえるならばなんでもしちゃうわ♥

うまく気づいてちょうだいよ♪
ドンッ
あっ
！
あいたた
あ!?
おっとゴメンなさいな！
待て！

かわいい顔して……ウフフッ
浜野邸
それにこの肌……
もったいない話よねえ……
スリなんかやめてわたしの囲い者におなりよ！
うう……
ホホホ！先生よく捕まえてくれました！
お礼はあとでたっぷりと……
ああ！


楽しい夜になりそうだねえ……
ウフフ♥
これじゃお涼って娘をさがすなんてムリだよォ
……だって気持ちいいんだもん！

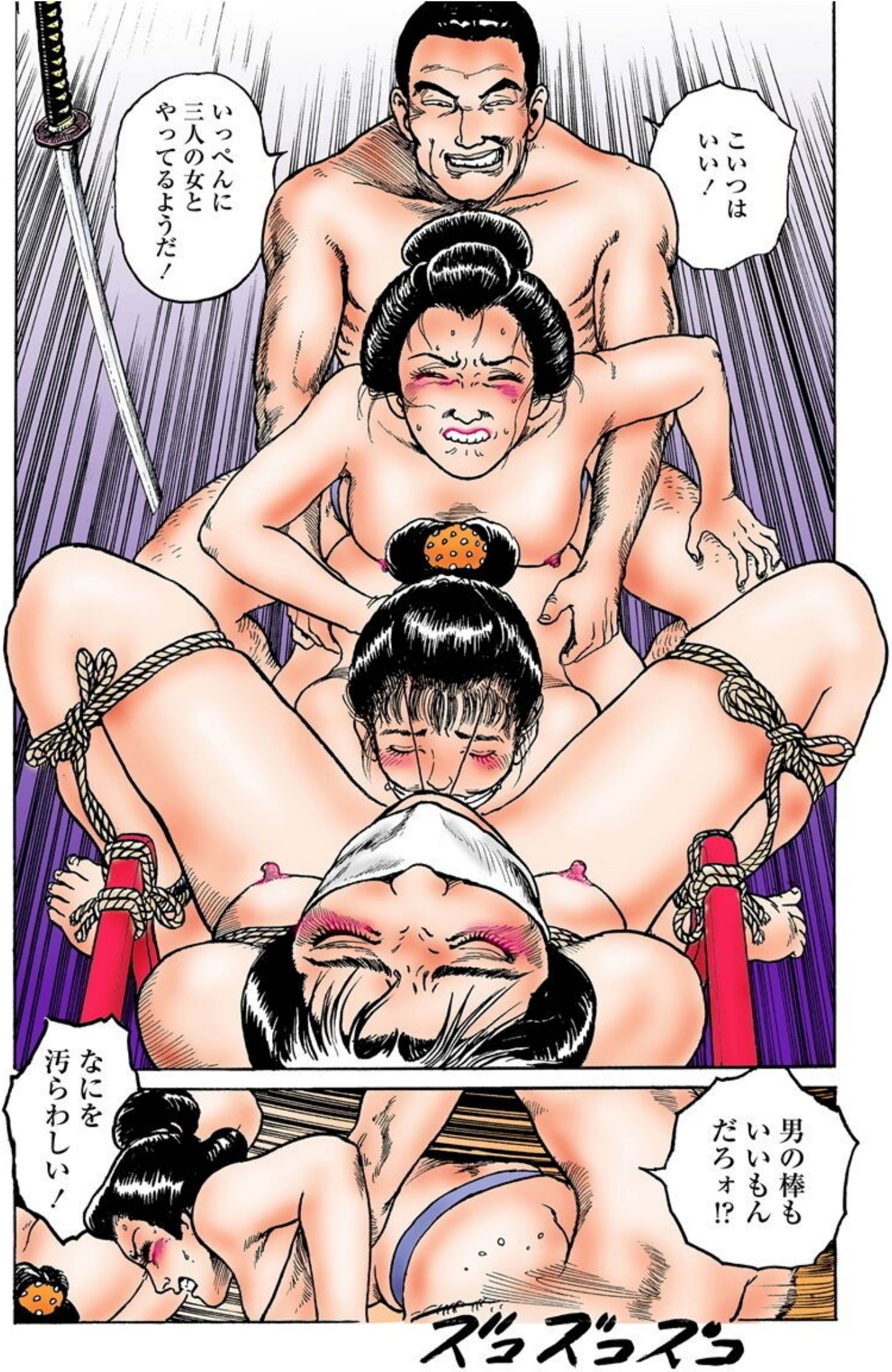

さ おいでお涼！
えっ!?

お涼ちゃんって
ま…まさかこの娘が
……!?
あっ
ちょっと待ってえ
〜〜〜っ！
しっかり動いて
あげるんだよ！
んぐ……
ぐぐ
おまえは
この張り形褌で
かわいがって
あげるからね！

グ…
ア!?
ズッ
ギュ
な…なんか変な感じ……
で…でもいい〜〜〜っ!!

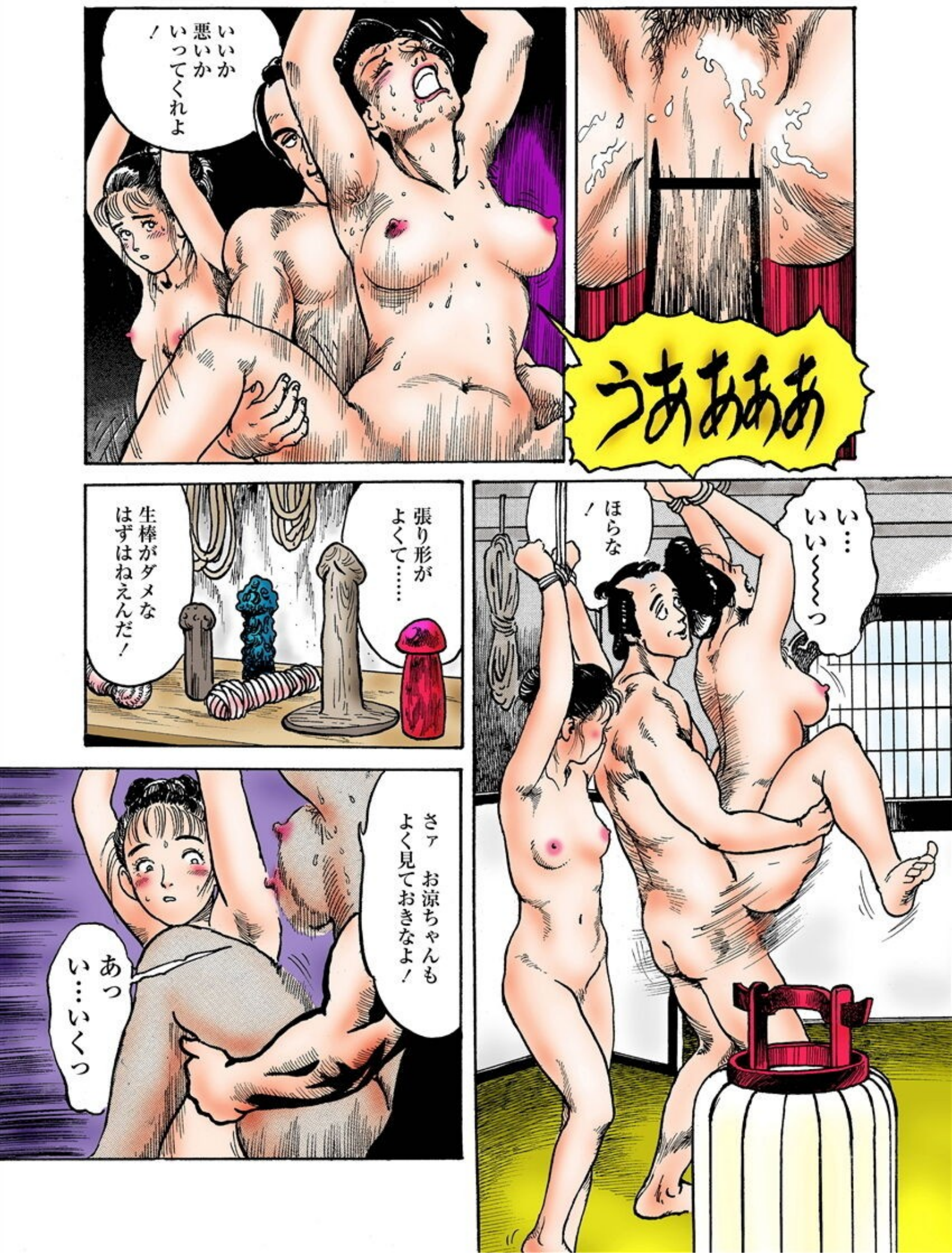
ホッホッホッ……
チャ……
!!
せ…先生！なにを!?
よォ
!?
あんたのおかげでもうすぐ大金が手に入るんでな！
礼をしにきたのさ！

大前屋に
身代金を出させるよう
……
手を打った！
なん
だって!?
スゴ
うぐぐ
〜〜っ！
グ
グ
捕まればあんたも
磔になるんだ
仲よくしようぜ！
なにをバカな
……！
ほォ〜〜〜っ
いい締まりじゃ
ないか！
ほ〜〜〜ら
！
くっ
！
ううっ
！
う〜〜〜っ
！


こいつはいい！
いっぺんに三人の女とやってるようだ！
男の棒もいいもんだろォ!?
なにを汚らわしい！
ズゴズゴズゴ

おまえの膣内にぶちまけてやる！
ダ…ダメよしてえ〜〜っ！
!!
わおお〜〜〜っ！
いやあああ
うう〜〜っ
あっ……
い…いっちゃう——っ!!

ヒュッ
ヌポン
ううっ
!!
ピュ
汚らわしい……か！
!!
なるほど　男嫌いじゃ男の良し悪しを見ぬけねえのもムリねえなァ……
どうだいお絹さん……
その体男を受けつけるかどうか…この平次に試させちゃくれねえか……!?
えっ……!?


いいか
悪いか
いってくれよ
！
うあああ
い…
いい～～っ
ほらな
！
張り形が
よくて……
生棒がダメな
はずはねえんだ！
さァ　お涼ちゃんも
よく見ておきなよ！
あっ
い…いくっ

い…いいっ……
いっくぅ——っ!!
なっ!?
お涼ちゃんも
試してみるかい!?
男も悪かァ
ねえだろ!?
は…
はい……

ズムム
あっああ〜〜〜〜っ!!
ほォ 若え娘にしちゃ……
熟れた女陰(ほと)してるなァ!
ずいぶんと使いこんでるようだぜ!
これじゃ先が思いやられる……
ああっ! す…すごい〜〜〜〜っ!!
ズズズ

あっ
ズニ
お蝶みてえになったらおまえ……
ズニ
あうっ
あっ！そういやあのガキどこへ行った!?
ズオン
ああぅ
ああああ
うう〜〜っ！
くた…
ありゃ……!?

もう昇天しちまったのかな……!?若えなァ……
はあ
はあ
ピチャ
ピチャ
あ～…あ…
なァ　お絹さん！
小娘嬲りの道楽ってえのはとかく騒ぎになりやすい……
男遊びにクラ替えしてみねえか!?
そ…そんな急には……
じゃ　もう・・・ひとこすりだな！
ああ～～っもう堪忍してえ～～っ

ああああ
チュポ

ほら 先生もここで
ガンバっておかないと
……！
う…
ペロ

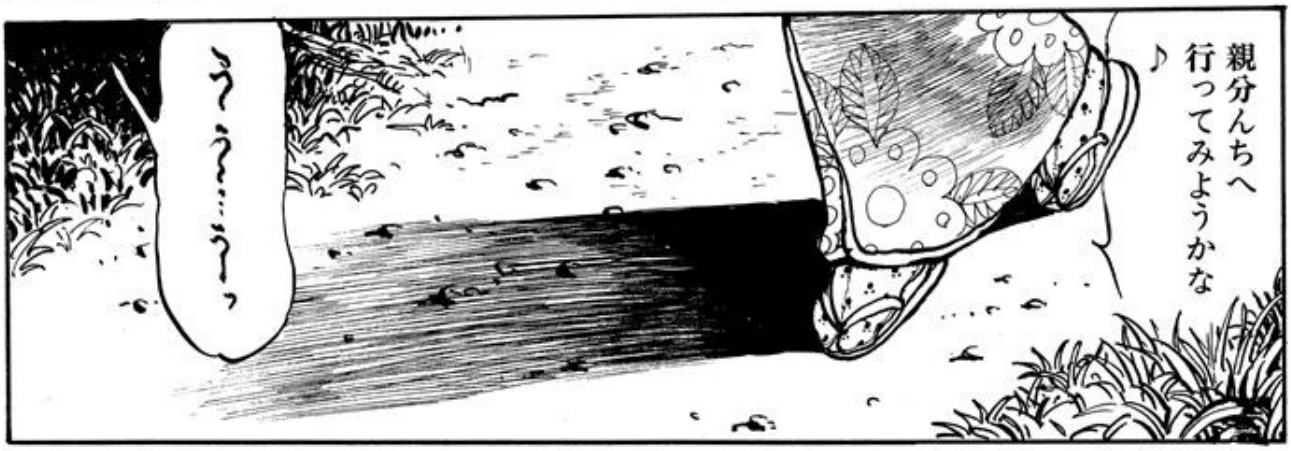
牢に入ったら
女っ気なしよ
〰〰っ！
ヌルル…

クソォ
〰〰ッ！
あん
そうよ！
その調子ィ
〰〰っ♥

おわり

第二話

う～～～寒う！
こんな晩は
親分に火責めなんか
してもらうと
……
温まるんだ
けどな～～～っ♡


親分んちへ
行ってみようかな
♪
う～う～…う～っ

？

わっ ど…
どしたの!?
うらやましい
格好しちゃって!
プピ
え!?
な……
なんなのよォ!?
きゃあ
ビシャシャ…

※江戸時代の最下級の娼婦

明神池
ニヤ
なんだ それなら
もっと おもしれえ
やりかたがあるぜ
！
もたもた
するんじゃ
ないよ!!
!?
お陽姐(ねえ)さん!?
なんだい その娘？
あたしらに
断りもなく
客を引いて
やがったのさ
！
……
……

ギギ…ギギ
夜鷹にゃ
夜鷹のしきたり
があってねえ
勝手なマネ
されたんじゃ
困るんだよ！
それに
このところ
おもしろくない
ことが続いててね
ピタ
ピタ
タラ…
おや!?
なんだい
この娘は!?
濡らしてるよ！
パチ
パチ…
そういうことなら
あたしらの
ウサ晴らしに
たっぷり付きあって
もらおうかねえ……

んぐうっ!!
チリ
チリ…

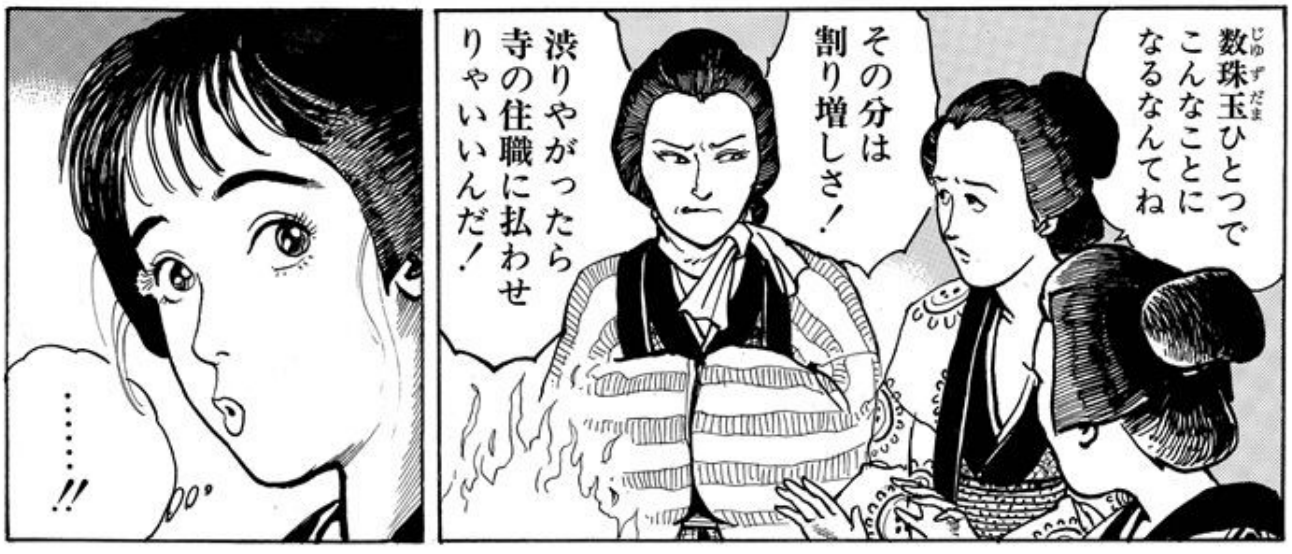
ひゃはは
よく燃える
こと!
ホ〜〜ラ
暴れると
よけい熱いよ
!
あれま!
なんの騒ぎ
だい?

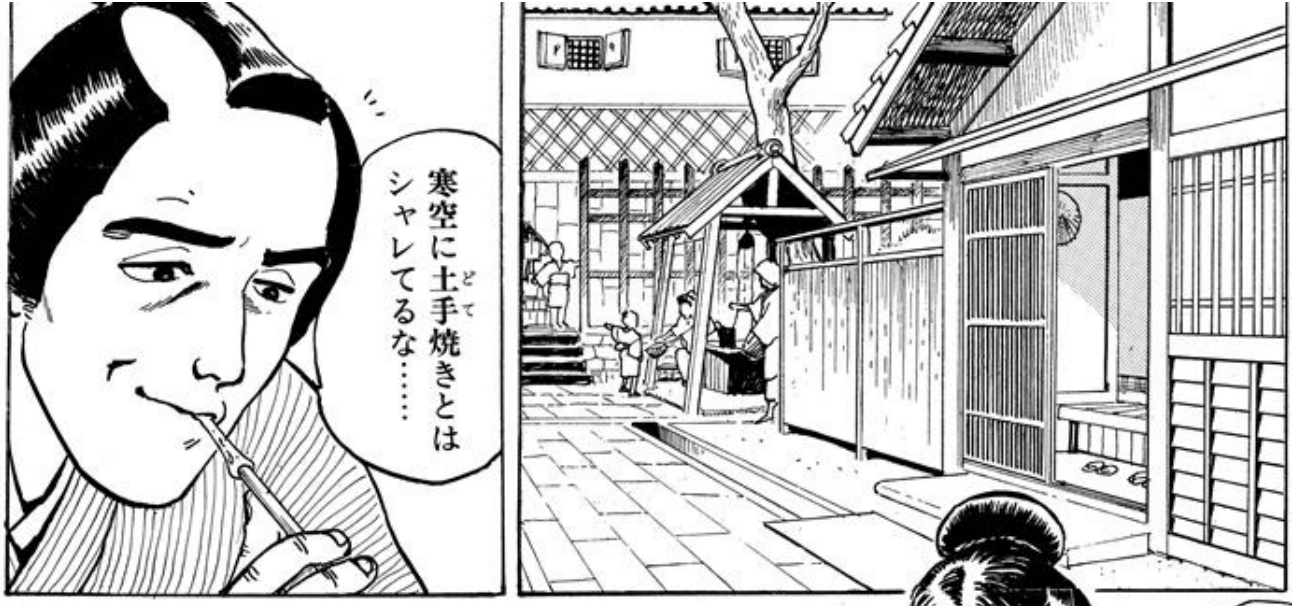
あら
お藤さん!?
いいのかい
体のぐあいは?
前のくちは
使えるもの……
稼がなきゃ!

おや!?
?
ちょいと
その娘……!!

じゃ あんたを助けた娘ってこの娘!?
それならそうと言えばいいのに……
ほ～……
昨晩この娘が通りかかってくれなきゃ今ごろあたしは凍え死んでたところさ
そんな娘がどうして夜鷹のマネなんか……?
それは……そのお金が欲しくて!

まあいいやあの坊主をひっ捕えるのに人手もいるからね!
坊主?
昨晩のお藤さんを見たろ?その坊主の仕わざさ!


数珠玉ひとつでこんなことになるなんてね
その分は割り増しさ!
渋りやがったら寺の住職に払わせりゃいいんだ!
……!!


寒空に土手焼きとは
シャレてるな……

おかげで
ホラ こんなに
……
——で
どうだった？

えへっ♡
ちょっと
うれしかった
かな……♪
バカッ！
夜鷹たちの
ようすだよ！

ああ……
あの人たちね
お坊さんから
お金を取るって……
ダメなら
住職から……とか
言ってたけど
恐喝（ゆすり）か……
こいつは ほっとくわけにゃ
いかねえかな やっぱり

お陽ってのはおまえさんか？
な…なんだいあんたは!?
仲間の夜鷹から聞いたぜ
数珠玉はあんたが隠してるそうだな？
!!
あうっ
!!

※サンスクリット・古代インド言語の文字

その坊主にゃ何度もやり逃げされてたんだ！
あの晩やっと捕まえて銭を取ろうとしたら……
あいつ急に暴れ出しやがって大人しくさせようと玉を飲んでみせた……本当だよ！
なるほど……おまえたちの言い分けはわかったが恐喝(ゆすり)みてえなマネはいけねえなァ

そうでもしなきゃあたしらの……
あっ
ムネ。
いくら腹の虫がおさまらねえからって住職まで巻きこもうってのは欲気(よっけ)じゃねえかい？
大人しく玉のありかを話してくんな
うう…ぐぐぐ…

もおっ！
なにも起きないじゃないのよォ
自分でやってみようかなァ……
でも池の水を……
どうやってお尻に入れるんだろ？
ズプ
あっいいっ!!
いく…いくうっ!!

あんっ
抜かないで
！
数珠玉は
どこだい？
そ…そんな
あれは
あたしら
みんなの……
仲間たちは もう
いいんじゃねえか
？
おまえのヨガリが
連中の膣内の
張り形を大暴れ
させるからな
あとは
おまえ
次第よ！
あっはああ～～っ

ゴビュビュ
ジュジュ…
も…もうダメえ
お腹が破れちゃう
うるさい!!
おまえらのせいでわたしの出世は遠のいてしまったのだ!
あっ痛……
グ…
あの玉を渡すまで……
何度でもこういう目にあわせてやる!!
それっ
あ〜〜ん!!
ギュ
ギシ…
ダメえ裂けるうっ

グ…
あっ いやっ
グルルル…
お腹押さないでえ
はあっ あっ……
いく…いくっ!!

ああっ
も…
もう少し
なのに！
玉は……？
言う…
言うからっ!!
よしっ！
ああっ
いいっ!!
はあっ　いく
いっくうう〜〜っ!!

うくく
フウッ
ヌルン
あっ ダメ
抜いちゃダメッ
出るっ！
プシュ
出るう!!
あはあああ…う
なんだか おまえ
うれしそうだな？
はあああ…
シュシュ…ズジャア

なるほど
こいつは
よくできてる
……
親分～～っ
これっぱかしじゃ
腫れないよォ

この金を
夜鷹たちに
渡してくれ
住職から巻きあげた
口止め料だ
尻の腫れを
治すには充分
だろう……
渡したら お尻
虚(いじ)めてくれる？
ギラ

これを
好きにしていい
！
ええっ
♪～
や～～ん！
親分のも
つけて～～ん
！
あんまり
欲張ると
ありがたくもねえ
数珠玉に罰(バチ)を
当てられるぜ！

おわり

第四話

へひふへはん
ほはいへえ〜〜っ？
しゃぶるか
しゃべるか
……
どっちかに
しろよ
お蝶……

女ギツネさん
来ないね〜〜って
言ったの！

やたらと昔の
節操を押しつける
近所のバアさんじゃ
あるめえし……

女ギツネなんて
呼びかたは
失礼って
もんだぜ！
色気づいた
ガキどもに無料で
色事指南を
してくれるなんざ
女の鏡じゃねえか！

……とは言っても
度が過ぎると
おまえみてえに
なっちまうが……
♪
ん～～っ
おいしい♡
割れた鏡だな
おまえは……
ガサ
ガサ
!?
!

ふっ
きれいな女(ひと)じゃないの！
バタン
どうすんの親ぶ……ん？
？

ここがキツネさんの通り道ね？
それにしては少々立派すぎるようだ……
やだ親分下りるの!?
キツネの正体を確かめに行くのさ！
や～～～ん恐いィ……
おまえはガキどもの濡れ場でも見てろ！
見るだけじゃなんだからさァ仲間に入ってもいーかなァ？
ね～～～っ親分？

こりゃすげえ！
ポッ
ポー
どうやらでかい荷を運ぶ穴らしいな……
ひゃは！始まった始まった♪

あらま！
いつの間に
あんなに……
それも　まだ
やっと下の毛が
生えそろった
ぐらいの子
ばっかり！
エヘッ
でも……
かわい～～っ♡

!!
あぐっ
な…なんだ!?
おまえら
ここで
なにしてる
!?

お願い……
見のがして
!
!!
!
そ…その
声は!
あっ
来ないで!
文造兄ィ
誰でえ
その女?
くっく……!
こいつは……
俺にも運が向いて
きやがったぜ
?
誰か行って
渡海屋の主人
呼んでこい!
おもしれえ品が
あると言ってな
……
……

年齢は三十五も違うが……
この女は渡海屋の女房よ！
!?

まさかこんな遊びをしてたとはなァ……
やっぱり夜の相手がジイさんじゃあもの足りねえかい？

こんなマネしていいのかい？
あんた渡海屋の手代だろ!?

いや…これから主になろうと思ってな……
!?

知ってたかい女将さん？
あんたの亭主の裏の商売を……？
抜け荷だよ
抜け荷……
あの荷の中は御禁制の品がギッシリよ！
んう？
細々とやってた抜け荷商売を俺がでかくしてやったんだ！
荷運び用のホラ穴までこしらえてな……
チュー
チュー
う～う～
その褒美が……聞いてあきれるぜ！
来年番頭にしてやる……だとよ！
冗談じゃねえやな！

あ…うっ！
あう～～っ
ガキやジジイとは
比べものに
ならねえだろ？
う…くっ
ギシ

ううっ
あ…あっ！
ああああっ!!
エ!?
えっ？
ちょっと！
ここに
居合わせたのが
不運と諦めな
姐(ねえ)ちゃん！
ん〜〜〜〜ん!!
(や〜〜〜〜ん)

ズプ
ズプ
う…う〜!!
お…おい 早く 済ませろよ
こ…この姐ちゃん すげえモノ 持ってるぜ おい!
う…ぐぐ

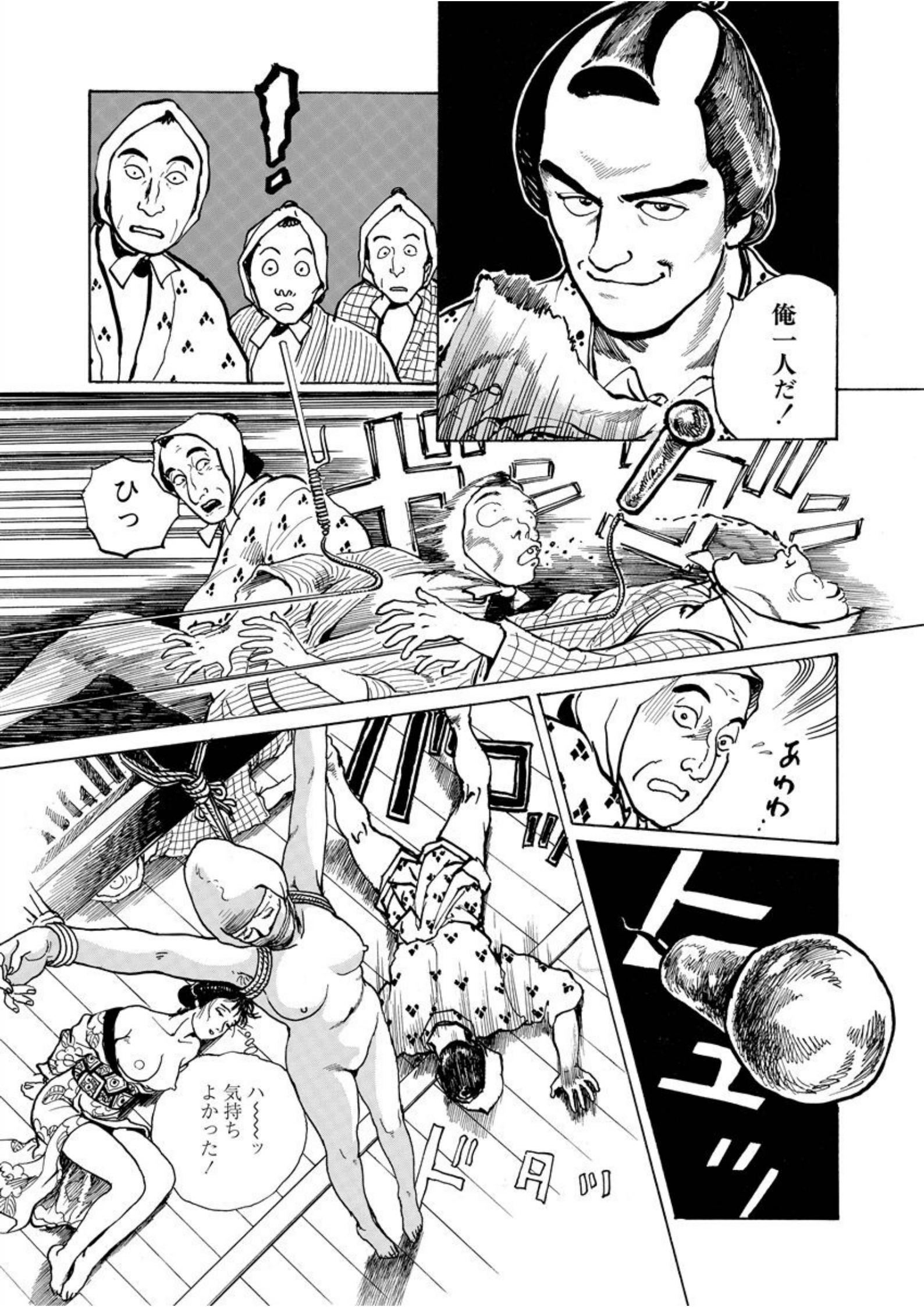
中になんかいるみてえなう…おおっ
外に出せよ!!
ズコズコ
はあ…あ!
ジジイは俺が殺してやる……
そうすりゃ渡海屋の身代は女房のあんたのもんだ!
あとはあんたがこの俺を亭主にすればいいのさ!
嫌とは言わせねえぜ
ブチュ
ああ…あ!

ん…くっ
交替
交替!!
はあ〜
た…
大変だ!!
渡海屋が!

なにィ
!?

奉行所の
ヤツらか!?
いや……

?!
渡海屋が
捕まった!!


俺一人だ！
！
ひっ
あわわ…
ハ〜〜〜ッ
気持ち
よかった！

数日後――
あんたは
ホラ穴の
ことを知って
いた……
抜け荷の
ことも知ってた
はずだぜ……
あ
あ
あ
あ
し…知ってたけど
わたしは関係　ああっ
ありませ～～ん！
あのな
……
ギュルル…

はあ
はあ
はあ
知っていて
言わなかったら
同罪になるんだぜ
言ってしまったら
あの子たちに
会う手段が
なくなるから……
はあ
本当です
信じて
ください！
弱ったな
……
まっ
いいか！
抜け荷を
暴けたのも
あんたの
その道楽の
おかげだから
なァ……
親分さん！
出てらっしゃい
いるんでしょ!?
また
あのバアさん
……
今度は
なんだ？

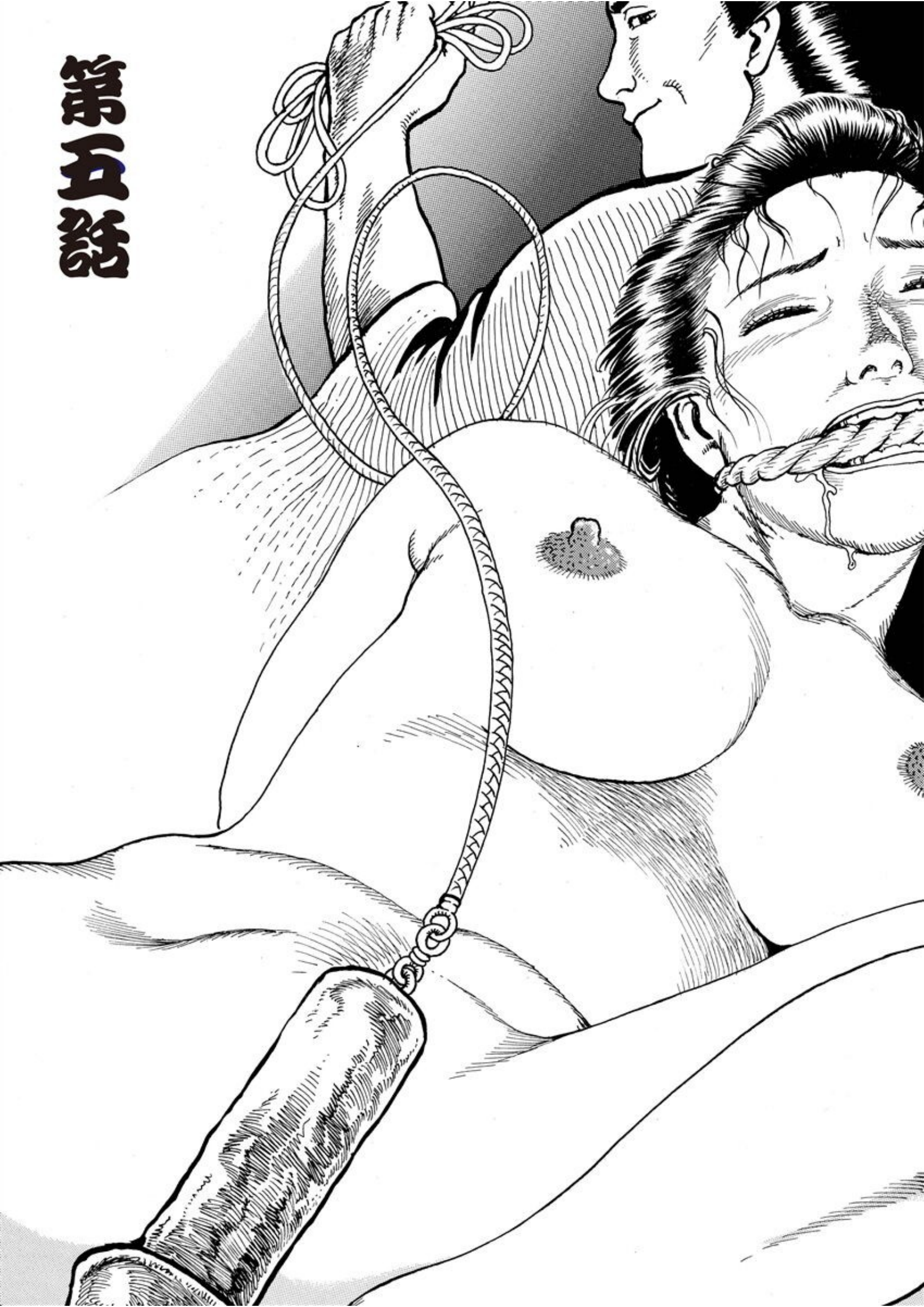
西光寺に
また
女ギツネ!?
そうですよ!
あなた本当に
退治してくれ
たの!?

しかし
女ギツネ
なら
ここで……
まさか
あの割れ鏡女!!

きゃ〜〜〜っ
くすぐったいィ
けど楽し〜〜〜っ!!

おわり

第五話



あうっ
ああ
いいっ！

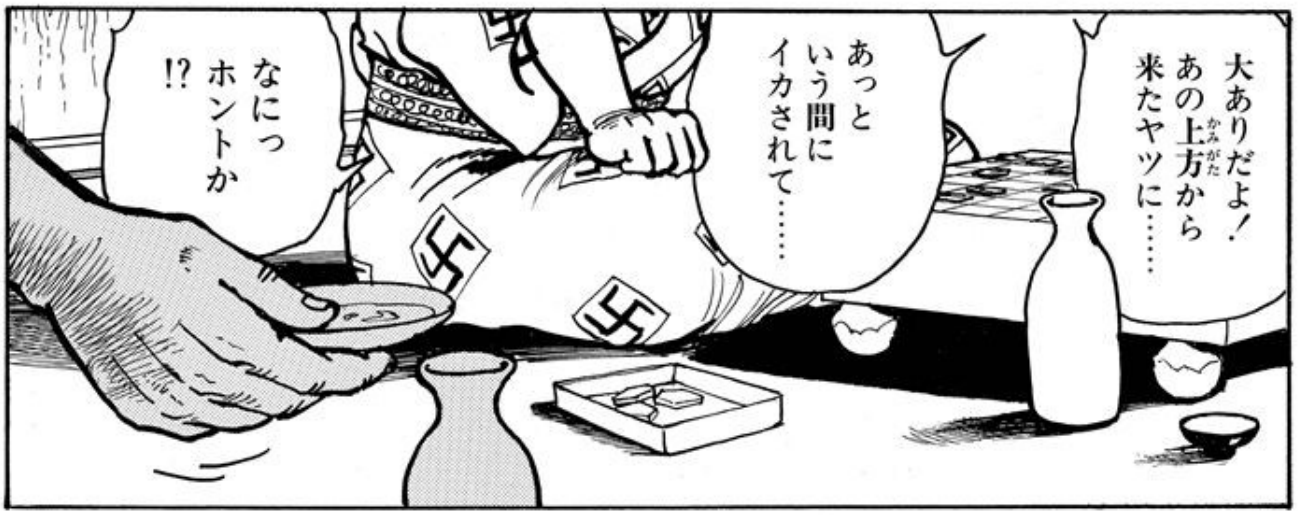
す…
すごいっ！
あんた
すごいよォ
!!

姐さんこそ
評判に たがわぬ
女陰をお持ちで……
姐さん
だなんて
……
お藤と
呼んで……
か…
嘉助さん！
ヌギュ
ヌギュ

じゃあ
お藤さん
いきやす
ぜえ！
ああっ
!!
来てっ
来て…来て
ああ～～っ

いく…
いっくうう!!

お…おい
えれえこった
なんでえ
あわてて？
姐さんに
なんかあった
のか？


大ありだよ！
あの上方から
来たヤツに……
あっと
いう間に
イカされて……
なにっ
ホントか
!?

チッ 面白くねえ
俺たちの番が
また遠のくぜ
淋しくなりやすね
ヒゲのダンナも
……

ここんとこ
お藤とは毎晩
してたからな
俺にゃ
ちょうどいい
骨休めよ……
ちぇ……
しょってら？…
おかげで
こっちは また
安女郎買いだぜ
ゴメンなすって
！
おう
来たかい
入えんな
まあ
一杯やろうじゃ
ねえか
恐れ入りやす
まむしの嘉助と
申しやす
お見知り
おきを……

なかなかの
化けっぷりだな
……平次
かつらを
付けただけ
ですがね

まむしの嘉助……
上方を荒らし回る
浪花の伝右衛門の
配下の盗賊だ
嘉助は
その伝右衛門の
使いとして
江戸へ来る途中
……
小田原で
捕まった……
というわけで？

うむ……
おかげで
これまで近づく
ことが
できなかった……
江戸の闇の世界を
牛耳る大物を
捕える手立てが
できたのだ！

その名も
暗闇半兵衛……
探策開始から一年
いまだ正体の
つかめぬ謎の人物
……
おまえに化けて
もらったのも
こやつを捕えん
がためだ！

半兵衛には
お藤という情婦(イロ)
らしき女がいる
この女は
半兵衛の仲介役でな
半兵衛はこの女の
仲介がない者とは
会わぬそうだ
なんでも
この お藤と
いう女……
仲介するか否(いな)か
その相手と寝てみて
決めるらしい……
女のナニには
神通力があると
いいやすから
だからこそ
おまえを
まむしの嘉助に
仕立てるのでは
ないか！
そして これだ！
嘉助が隠し持って
いたものだ
浪花の伝右衛門が
半兵衛に宛(あ)てた
書状だ
浪花伝
この書状と
おまえの
女陰責めの腕が
あれば……
お藤の
その神通力と
やらも鈍るはず
……
うまく半兵衛に
会えるように
事を運んでくれ……
頼むぞ
平次……!?
へい
……

小田原代官
牢破りだ!!
そう遠くへは行くまい!
探せ探せっ!!
なにっまむしの嘉助を逃がした!?
はっ!ただ今小田原より急使が……
バカな……それではブチ壊しだ!!

一体
いつになったら
……
暗闇の
お頭に
会わせて
いただける
んで？
あ…
まだ…よ
だって
わからないんだ
もの……
あんたが
どんな人なのか
……
あんたので
こすられると
頭ん中が
白くなって
……
……
……
お藤！
ちょっと
来てくれ
お藤！

張り形……平次!?
ああ……
奉行所の役人が話してるのを聞いちまってな……
まむしの嘉助にウリふたつなんだとさ！
!!
そりゃ一度会ってみてえもんで……
トボケるねえ！
お待ち！

仮にも
浪花の お頭からの
使いで来た お人だ
証(あか)しもなしに
疑うのは
失礼だよ！
…ったく
気に入った男には
甘いからなァ……
あんたって女は……
な…なにを
バカな
あたしは……

まあ怒るなよ
証しといっちゃ
なんだが……
平次の女
…ってのを
連れて来た！
こいつの体に
聞いてみようじゃ
ねえか！

はあ
はあ
はあ
はあ

正直に
言わねえと
もっと痛い目に
合うぜえ！
親分は
あんなタレ目じゃ
ないもん……
このアマッ!!
きゃあっ！
か〜〜っ
見てられ
ねえぜ
ちょっと
待ってくだせえ
兄さんがた！
？
女は下の口で
ものを言い……とか
言いますぜ！
あ……
え……？

あっ い…や……
やめて……！

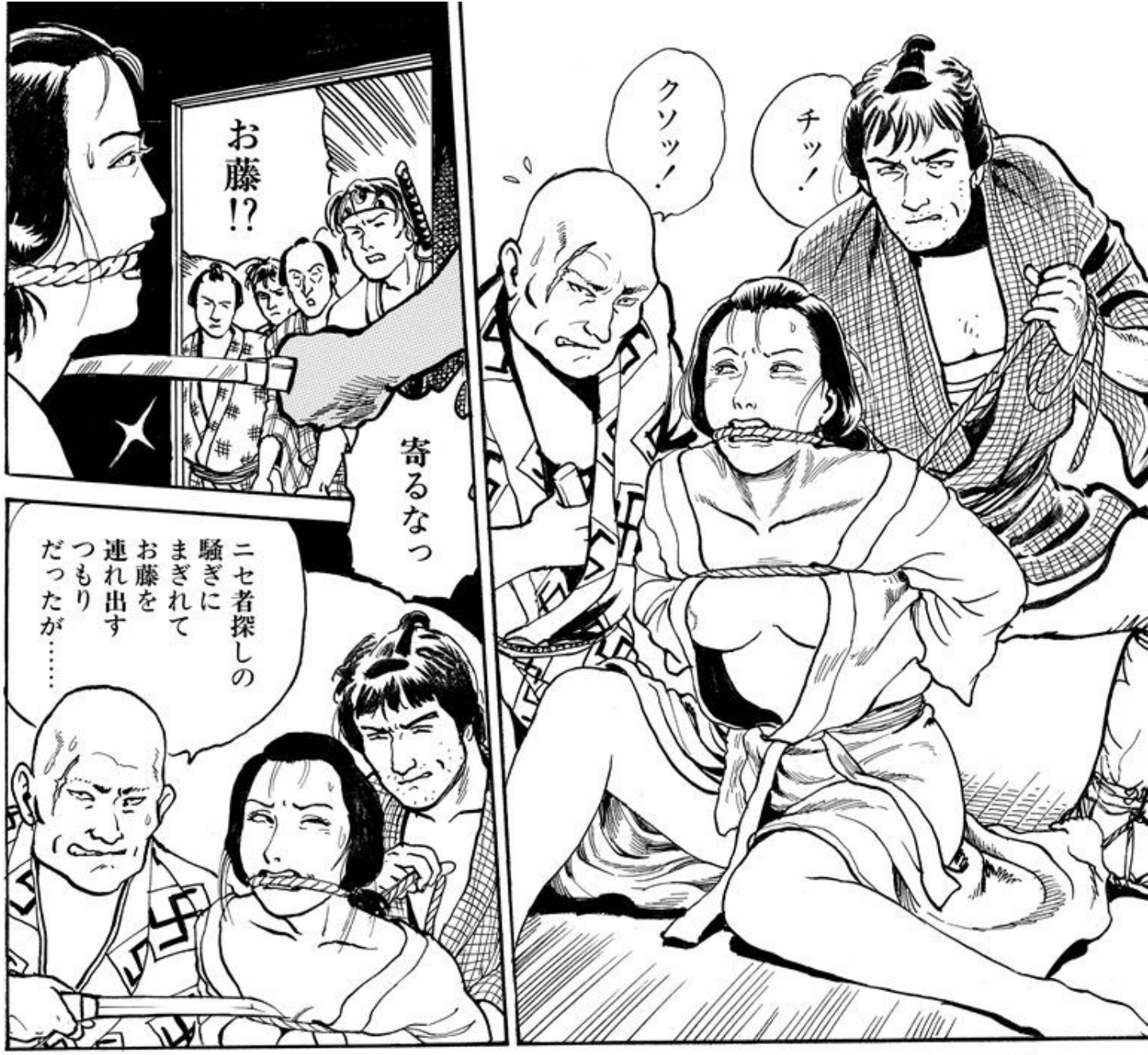
はん…ん…

なにが嫌だ？
下の口は
ヨダレで
いっぱいじゃ
ねーか！

あんっ
ダメえ
!!

グチュ
グチュ

へへっ
こりゃたまん
ねえや
あ…あん…
いやあぁ…
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
やだねえ
こっちが
妙な気に
なっちまう
姐さん
ちょっと
お顔を……
これから
いいとこ
なのに！
だ…
誰かっ!!
?!
いいのか？
おまえの
ために
来てくれたん
だぜ!?
だから
礼をしてるん
ですよ！


チッ！
クソッ！
お藤!?
寄るなっ
ニセ者探しの騒ぎにまぎれてお藤を連れ出すつもりだったが……

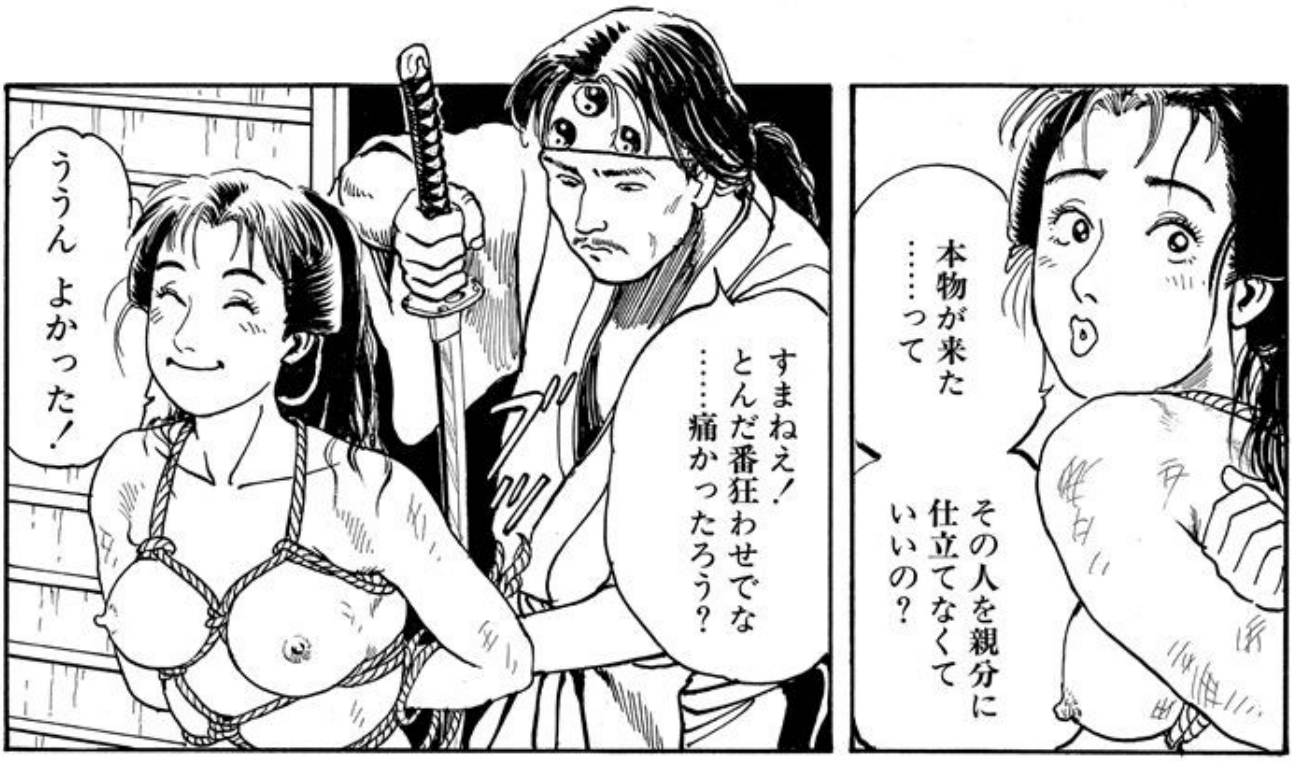
どうするまむしの嘉助さんよ？
なっ
てめえやっぱり！
そうさその男はニセ者だ！

んなことより……
お藤をどうする気だ!?
人質だよ!
暗闇半兵衛にこの江戸を明け渡してもらうためのな!
浪花のお頭が半兵衛になりかわるのさ!

なにしろこの女は半兵衛の懐刀(ふところがたな)……しかも実の娘だ!
娘!?

そうさ 親父のためにみずから身体を張ってるけなげな娘さ……
その命と引きかえなら半兵衛も否とは言うめえよ
ペロ…
いただけねえ話だなァ……

!?
峰打ちだ
ふん縛っとけ！
俺は
ニセまむしを
捕える！
えっ？
あれ
そういえば!?


その人を親分に仕立てなくていいの？
本物が来た……って
すまねえ！とんだ番狂わせでな……痛かったろう？
ううん よかった！

あ？
ダンナっどこです!?ダンナ！
あたし虐(いじ)められると感じちゃう性格(たち)だから……

ひチュ…
ありがとダンナ！こーゆーことならいつでも呼んでっ
あ…あぁ…
じゃねー♪

へえ あのダンナ 奉行所の お役人 !?
隠密廻りといって 悪党の巣に 潜り込んだりする のが仕事なんだ
番狂わせって 言ってたけど……

あたしが…… 親分はこの人です ……って指さす はずだった人 どーかしたの？
まむしの嘉助か…… あいつは いわば 半兵衛にケンカを 売りに来たような もんだな……

おとなしく 捕まってりゃ よかったものを……
おかげで かつらがムダに なった！

親分もあたしも ムダ骨を 折らされたのね ？
おまえは 楽しんだろ？
や～～～ん♡

おわり

第六話

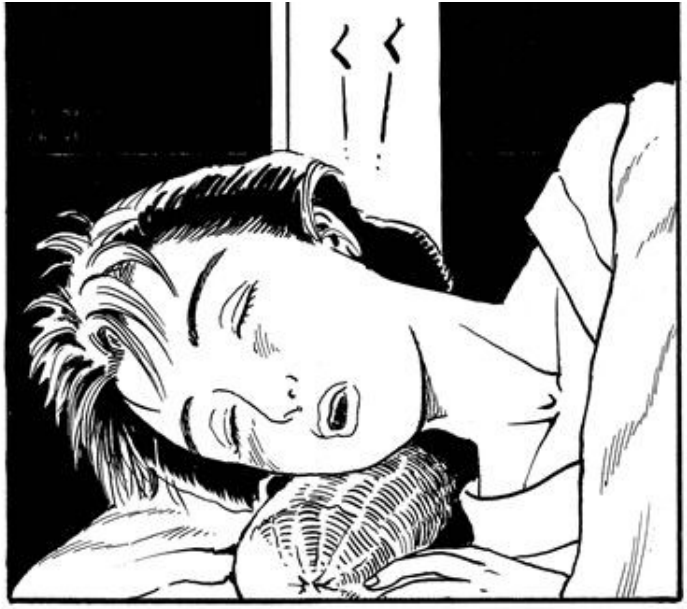
この娘を
人形市に
出したい……？
はい この松亀堂が仕込みました
囲(かこ)い人形——お蝶でございます
ほう……
お蝶さん——
というのか……
よろしいのかな
手離しても？

そろそろ
わたしも
……
新しい人形を
手に入れたいと
思いましてね
市とは
いっても
売り買いする
わけじゃない
手に入るか
どうかは
クジ引き
しだい……

この娘ほどの
人形が手に入るとは
限りませんよ?
んっうう

ほう 鳴き声も
また格別!
うう
うう
わたしが
囲いたい
くらいだ……

人形市で
当たりクジを
お引き当て
ください……
そう
しましょう
ほっほっほ!


くく

書物絵草紙 文具舗
松亀堂
松尾屋修太郎
松

よく眠ってんな……
今のうちに寝だめして人形市を楽しむそうですよ

でもなぜお蝶さんを人形市に？
人形市に出た女を……
女郎屋に売ってる野郎がいるんだ

えっ!?
人形になる女は男に責め嬲られ弄ばれることを悦びとする……
けなげの上にバカが付く女だ
それを売ってひと儲けとは男の風上にもおけねえ……

誰です
そいつは？

人形市を市切ってる
あの板倉屋さ
ええっ!?

ムリヤリにだと思うが
女本人の名で身売り
証文までとってある……
だから板倉屋を
しょっ引く
証しがねえ……
そこで お蝶を
生き証人にしようと
人形市に通じてる
おまえに頼んだって
わけだ！

弱ったな……
板倉屋は
人形市の
顔役……
板倉屋のほかには
人形市を仕切れる
ようなヤツが……
この野郎……
なんの心配
してんだ!?

そうだ親分！
昔のよしみで
ここはひとつ
わたしの願いも
聞き入れては
くれませんかね？

ただで力を借りるんじゃ
俺としても気がひける
……
かまわねえ
言ってみな！

人形市ってのは
いわば囲われ女の
交換会みたいな
ものです
五日かけて
人形たちの品定め
……要は人形女を
責め嬲るんですが
それが終わると
クジ引きで
……
市に出された
人形の新しい囲い主が
決められます……
人形は品定めの当日
囲い主が連れてきます
毎回
同じ人形が
出されるとは限り
ません……
気に入った人形を
他人に渡すヤツは
いませんからね

市に入れるのは人形を連れてきた者と
前に囲ったことがある者だけ……
当然
人形より
男のほうが
多いわけで……
またどの男も
その道に足けた
連中ですから……

うっく〜〜〜う
たとえ
お蝶さんのような
いきのいい女でも

プハッ
もうダメ……
死ぬう……

あっ
ひいいい～
男は
入れ替って
休みますが
人形たちには
息つくヒマも
ありません……
品定めが終わると
人形は……

生きてるような
死んでるような……
そのあとの
競売遊びで
気に入りの
人形を
選び
ます

そのとき
人形は
簡単な化粧を
施(ほどこ)され
別宅へ
集められ
るんです

人形が男たちと
離れるのは
これが最初で
最後……
恐らく そのとき
女郎屋が人形の
値ぶみをするはず
……
親分には
そこを押さえて
いただいて…
それから

では
そろそろ競売を
始めたいと
存じます
とは言っても
これは お遊び
競売値の上限も
十両までで
それから先は
クジ引きと
……
んなこと
わかってるよ
！
早く
始めろ！

はいはい！
では一番人形……
お絹！

ああ

前の囲い主が
急な病で倒れ……
自らここへ来た
けなげな人形です
あ…あ…

おお……
まだ乳房も育ちきらぬ小娘……
どんな人形に仕込むかは囲ってからのお楽しみでございます！

十両！
おいおいいきなりか!?

じゃワシも十両！
俺もだ！

この中に板倉屋の回し者がいて……
女郎屋が目をつけた女を引き当てるしか……
となると当然クジは……

ではクジ引きです
どうぞ舞台の上へ

これはまた
よい器量だ！
お蝶
ですな
今回の
一番人気
でしたが……
この娘と
今 競売に
かけられてる
お絹……
今回は
この二人で
決まりですかな
さて
下の具合は
……？
あ……
おっ!?
おおっ!!
どれ
どれ……

こ…こ…
こりゃ
すごい！
この娘なら
言い値で
買うよ
板倉屋さん！
あ…は…？
わ…わたしは
その倍
払いますよ!!
さすが
お目が高い！
その娘なら
きっと
よい女郎に
なるでしょう

では
三百両からの
入れ札という
ことで……

ダンナさま
大変です!!
ん？

ま…松亀堂が
一番人形を
どうしても
手に入れたいと
言い出して……
なに
お絹を!?

クジも
引かずに
囲い主に
なろうとは
虫がよすぎや
しないかね
松亀堂さん!?
いえ わたしは
一時お預かり
するだけで……

あの お蝶も
これくらいから
わたしが仕込み
ました
この娘なら
お蝶以上の人形にして
皆さまにお渡しできる
かと……

お蝶……?
ホラ!
あの心底
惚られ
好きそうな
……
おお あれは
よくできた
人形だった!

お…
俺だって
その娘を
仕込みてえん
だ!
それを必ず
市に出すと
約束できますか
?

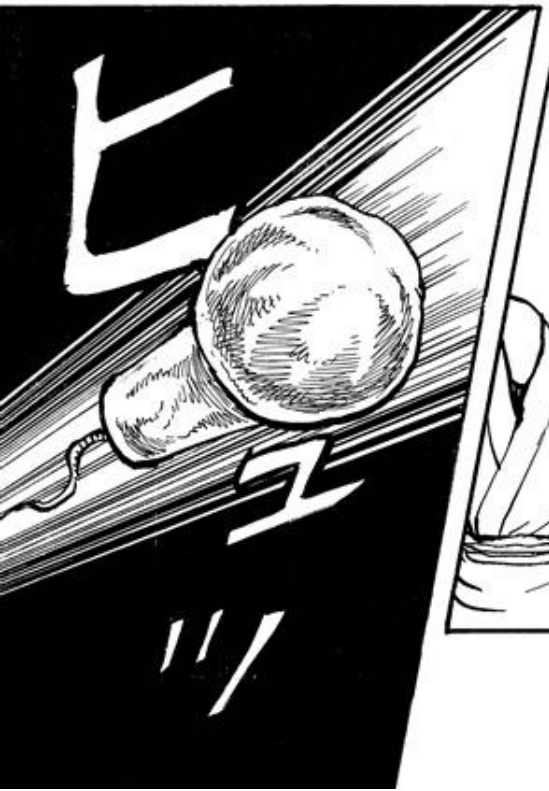
そ…
それは
……
わたしなら
縄を見ただけで
いくような
好きもの人形に
してみせますよ
おもしろい！
やってみろ
松亀堂
いーぞ
いーぞ！

ダメだ
ダメだっ!!

そんな
こと
わたしが
許さん！

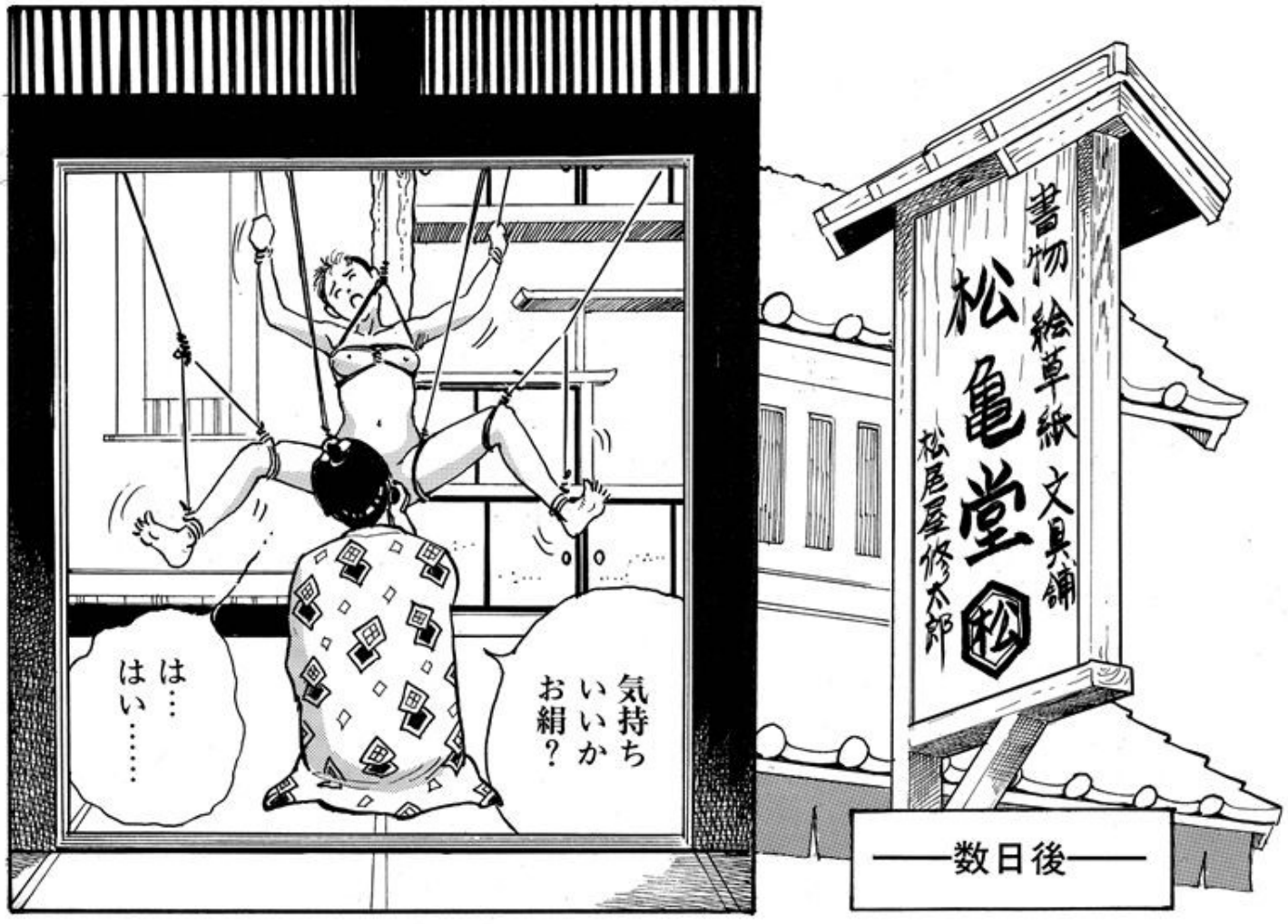
許さんとは
ずい分 無体な
……
なにか
不都合でもある
ので……？

と…とにかく
このクジを
引きたく
ないなら
帰って
くれっ！
人形くじ

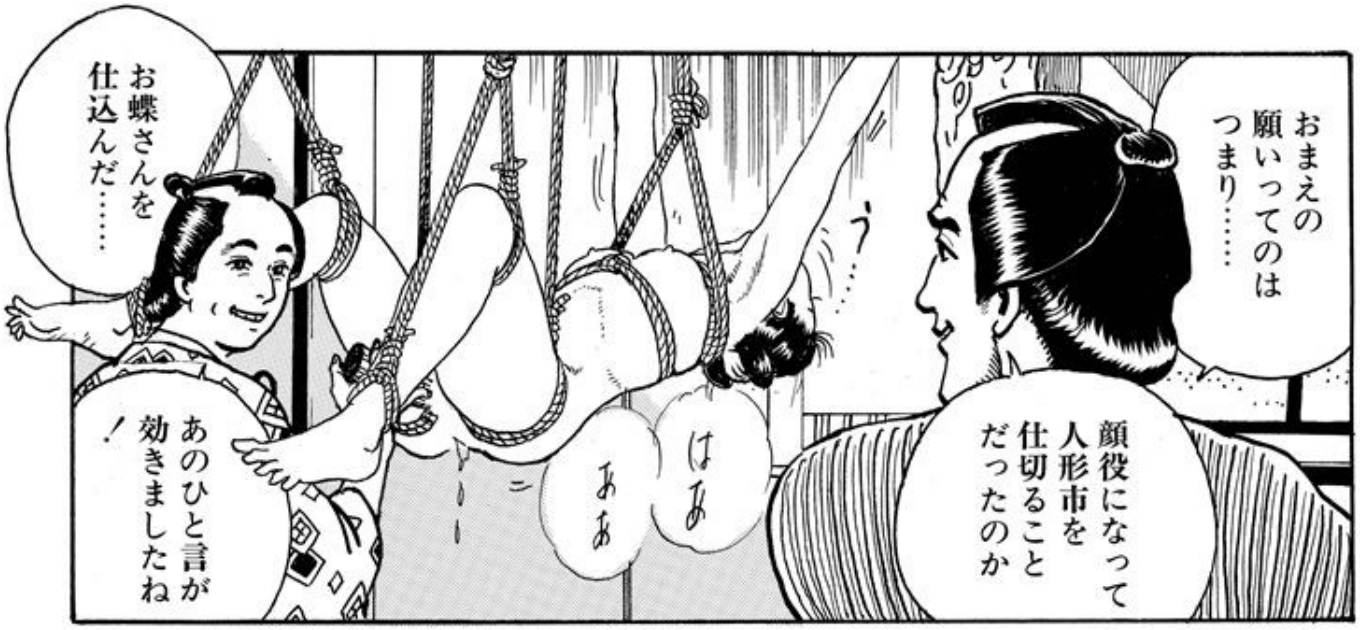

ヒュー

バコッ
人形くじ
!!
なにしやがる!?
クジはいかさまだと女郎屋が吐いたぜ…
な…なにを……!
なるほど!
こういう仕掛けですか……
コン
ポロ…

あっ
当たり札だ
！
当
どういう
ことだ
板倉屋
さん!?
…あ……
御法破りの
女の売り買い
申し開きは
番屋で聞こうか
！


書物絵草紙文具舗
松亀堂
松
松屋屋修太郎
気持ち
いいか
お絹？
は…
はい……
――数日後――

クッチュ
クッチュ
あ…あ……
わたし もう……
いくときは
いくと
言いなさい
は…はい
……
い…いき
ます……
ああっ
いくうっ！
いく〜〜〜
〜〜っ!!
あう〜〜〜っ！



おまえの願いってのはつまり……
顔役になって人形市を仕切ることだったのか
う……
はあ
ああ
お蝶さんを仕込んだ……
あのひと言が効きましたね！
女郎屋に売られた人形もみんな帰されるそうだし……
これから忙しくなりますよ！
グシュ
グシュ
それにしてもお蝶さんはすばらしい！
あ…も…もうだめェ…
どうすればあんないい人形に仕込めるんです親分？
俺は別に仕込んじゃいねえよ……
あいつが勝手に……
あ・あなったんだ！

メチャクチャにしていーのヨ
あなたの言うことなんでも聞くから
ねえ！
白粉
下田

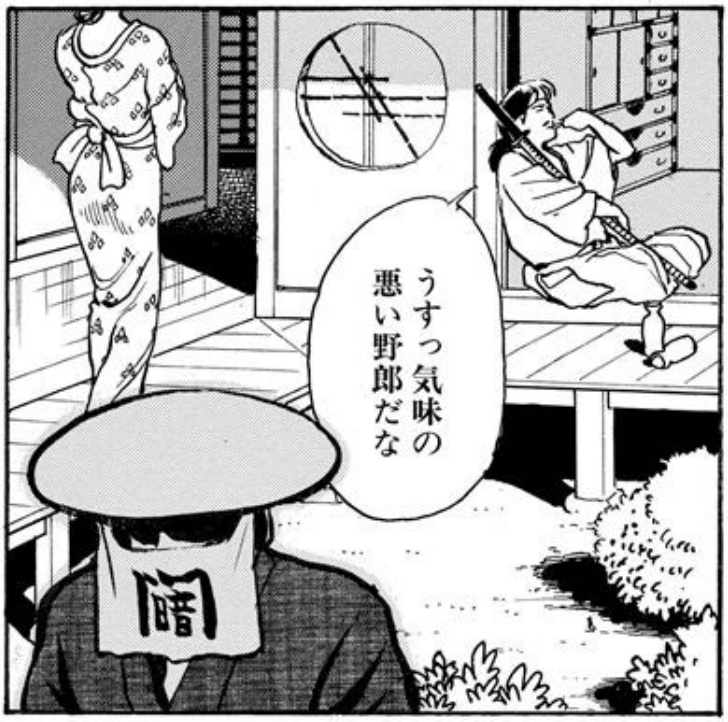
人形市騒ぎのあと始末で親分忙しいみたいだし誰かいい人……

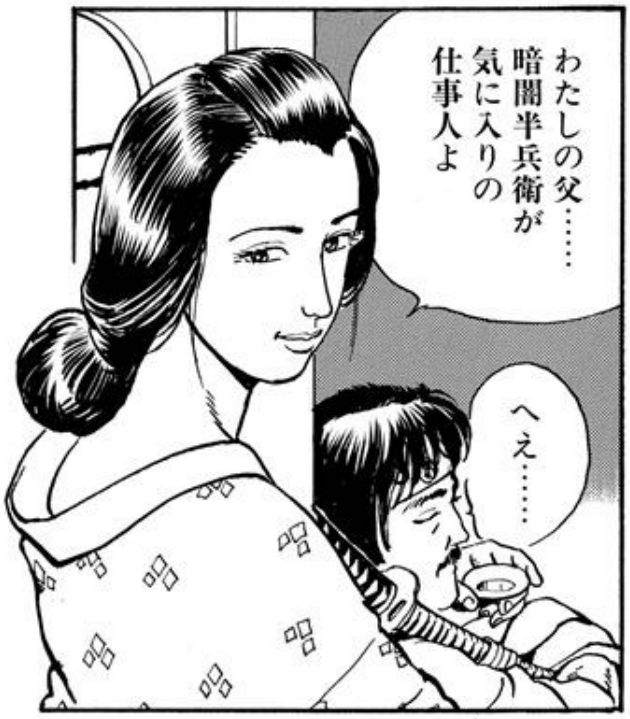
ねえ ねえ
ダンナ♪
今夜あたしを虐(いじ)めてくれない？

おわり

第七話

へい……
じゃ
頼んだよ……

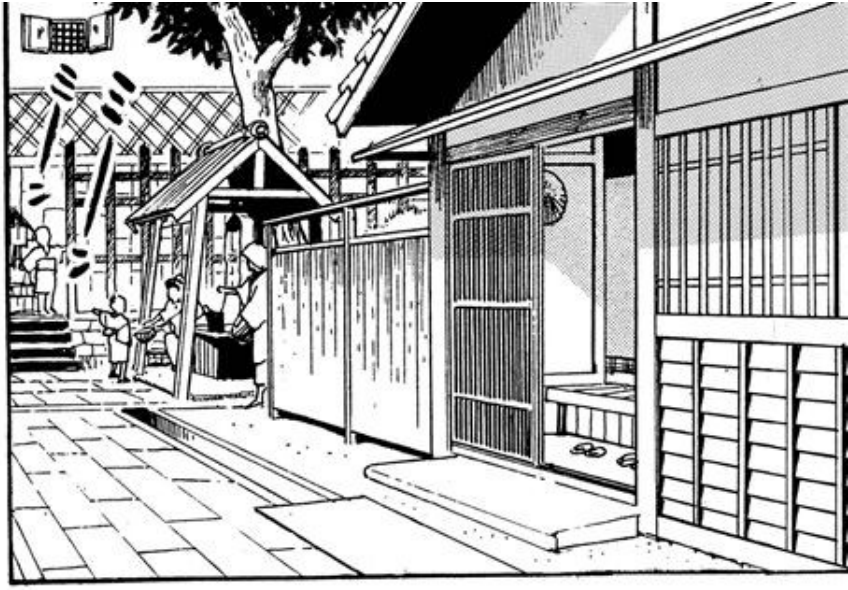

うすっ気味の
悪い野郎だな
闇


わたしの父……
暗闇半兵衛が
気に入りの
仕事人よ
へえ……

そんなことより
ダンナ……
今日は特別……
しゃぶってあげる

なんだ
いいことでも
あったのか？
これから
起こるの……フフ

チャプ
は――っ
気持ち
いい♪


ミ
ミ
ミ

ねえ 親分も
行水しよーよォ
見てるほうが
面白(おもしれ)え……

た…ただ
見られるだけって
……
ちょっと
恥ずかしいんだけど

へえ おまえにも
恥ずかしいことが
あるのか?

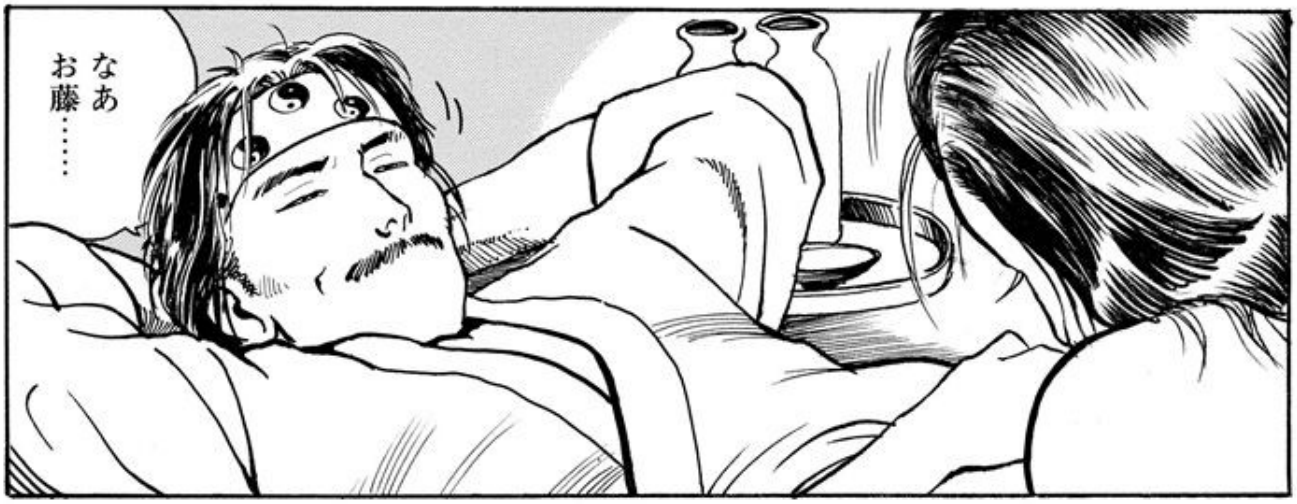
あ…
あるわよ……
はは
ゴメン
ください
まし……
平次親分は
ご在宅でしょうか
？
へい
おりやすよ
あ…あたし
もう出る
着物
取ってえ！
ホラ！
あ……
や～～～ん
イジワルゥ！

お待たせしやした……
御用
張り形の親分さん？
そうですがおまえさんは？
初めましてわたし……菊と申します
どんなご用件で？
うっ！
あの実は……
キャーっ
?!

ちょいと
お待ち……
!!
と……
なんだ
おいっ!?

あっち行けバカァ！
親分！
平次は今ごろ串刺しだ
あきらめろ
いやだァッ!!
ドッ
うっ！

ズバ…!!
う…ぐ……
殺すなら
ひと思いに
や…れ……
そんな
勿体ねえ
ちょっと
気を失って
もらうだけだ
コト…。。。


なあ
お藤……

なに ダンナ?
おまえの
親父……
暗闇半兵衛
ってのは
どんな野郎
なんだ?

盗賊から人殺し
まで……
江戸中の
闇の商売人を
束ねる男

んなこたァ
知ってるよ!
実の娘として
見てどうかって
話さ……

なにっ!?
その
ムスメを……
おんなにした
男よ……
八つの
ときから
わたしは父の
情婦……
そういう男よ
暗闇半兵衛って
……
姐さん……
……
……
なんだい？
暗
ご注文の品
お届けに
あがりやした

おい
この娘は!?
張り形平次の
情婦(イロ)……
でしたっけね
平次は
父の正体を探るため
賊に化けて
この わたしに
近づき……
あんた
すごいよ
あ…いく
いく〜〜〜っ!!
わたしに
大恥を
かかせた!
わたしを
コケにしたら
どうなるか……
思い知らせて
やりましたのさ
……
……
あはははは!

うっ

あ……
いい突きだった……
おかげで お蝶を
助け損ねたぜ……
あいつを
さらって
どうする気だ
？

フン！
あんたの得意な〝色責め〟とやらでしゃべらせてごらん！
やられてえのか？
わたしの口は堅いよ上も…下もね！
冷えきってるとでもいうのかねえ……
濡れるどころか感じもしない……
もっとも男どもは生娘みたいだって喜ぶけどねえ……
どう責めてくれるのか楽しみだねえ……
親分さん？…ハハハ！

す…
ビクッ
ひっ!?
冷えてるのは
上の口だけ
らしいな?
い…
今のは
突然で!
!?
!?
あっ!!

!?
!?
!?
バ…
バカな
こんなこと……
ヒイッ
ああっ!!
よ…
よせっ!
やめろ!!
は…あっいやっ!

うああっ!!

はううっ

グンッ

ピシュッ…

全部出しな……楽になる

シャア…

う…うう……

オット…

あ…あ〜〜っダメッダメえ……

シュ…ッ

シュシュ…

おまえ今まで……

よっぽどつまらねえ男と寝てたようだな

このままじゃ
気分が
悪かろう？
今
キレイにして
やるからな
あっ!?
ダメ……
これ以上
恥をかかせ
ないで！
小便を
舐めるほうが
恥ずかしいって
もんだぜ？
う…あ……
ああっ！
はあっ
も…
もういい
負けたよ！
ピチャ
チュ
キュ

あの娘は……
暗闇半兵衛の娘の家にいる……
あ
ああ…
チュルル…
ほお？
は…早く助けないと……
薬漬けにされて……
異国に売られちまうよ
ああ……わかった……
だがその前に仕上げだ……
ギ
ギシシ…
!?
あっ！
も…もう堪忍して…お願い
あああ!!
ズゥゥゥゥ

あっ…
苦しい！
そ…そんな
奥のほうは…
ああっ気が
……
気が遠くなる
それが
いくって
ことさ……
あ
いっ…いく
……いくっ
いくうぅっ!!

ニチャ…
特仕立ての
オクスリですよ
なんだ
その汁は
？
醋

グム…
本当に
狂うことも
あるんですよ……
フフッ！

これを尻の穴に
塗り込むとね……
グニ
グニ
幻に襲われ
狂ったように
淫らになるんです！

辛抱(しんぼう)しろよ
お蝶……
すぐ迎えに
行ってやるからな
……

うう？…ぐぐぐ…!!

おわり

第八話

ある類の
花やサボテンには
幻を見せる成分が
ありましてね
その成分を
しぼり出して
混ぜ合わせたのが

このお薬
なんですよ
これを
尻の中にね
……

ズゲゲゲ

うう〜〜〜っ!!

尻の中から染み込んだ薬はね……

口から飲むよりよく効くんですよ

ヴチュ〜

グチュ〜

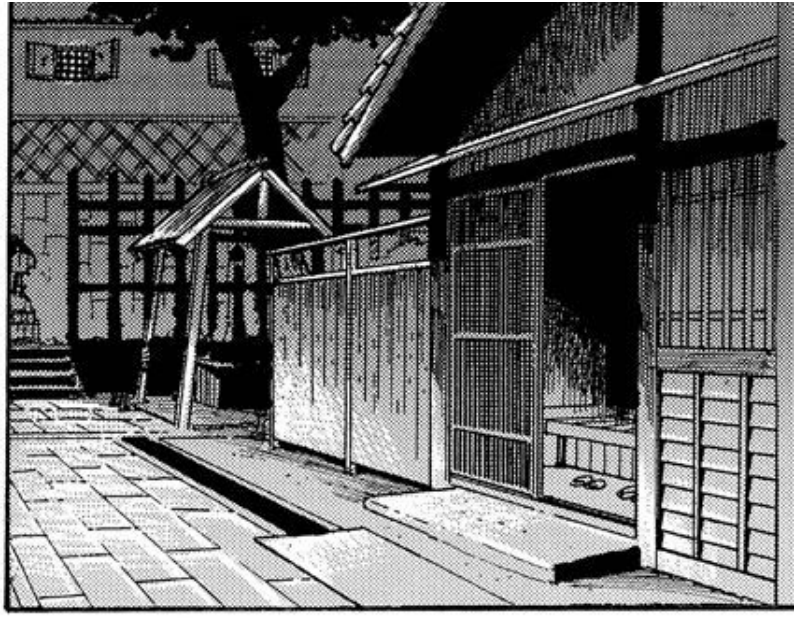
ズギュ〜

あ…ああっはああ!

ほうら……よくなってきた

あ…
はあ…
あ…
自分の情婦(イロ)が
薬で狂った姿……
平次が見たら
どんな顔
しますかねえ？
フフ……
刺客を
差し向けて
おきながら
平次が死んだ
とは思ってねえ
ようだな？
本当は
殺す気なんか
ねえんだろ？
ピクッ
もう一度
平次に抱かれてえ
……
それが本音じゃ
ねえのか？
お…怒りますよ
……ダンナ？
人間 図星を
指されると……
頭に血がのぼる
……って言うぜ！
フハハハ！

はァ
はァ



親分……
お藤の姉御を抱いたことがあるでしょう？
ああ……

やっぱり……
姉御の様子がおかしかったのはそのせいね

姉御ったら変に親分を憎んでねえ……
まるで好きな男に袖にされた小娘みたいに

ムリもないわねえ
男を手玉にとって
殺すのが仕事の
私でさえ……
親分の肉棒で
こんなになって
しまうんだから

でも まさか
私が口を割る
ことを見越して
刺客に……!?

きっと そうだわ……
なんてことだろう!
暗闇半兵衛の娘
ともあろう人が……

待てよ……おまえ
お藤の指し図で
ここへ来たのか?
そうよ…

暗闇半兵衛に
命じられたん
じゃねえんだな
!?
ヒッ
は…はァ!
お藤が仕事人を
勝手に使ったのか!?
そんなマネを
半兵衛が許すかな……!?

ちょいと誰か！
お呼びで？
替わっとくれ
少しは肉棒で擦ってやらないとね
あ…あ…
ギギギ…
ギシシ
だいぶ薬が効いてるようだから……
あぁ…
本人は夢の中……
何をやってもすぐイクからおもしろいよ……ウフフ
う…う……

なにこれ？
どうなってんのォ？
あぐうっ！
ガポ
クチュ！
クチュチュ…
ヴヴヴ
うっ…ううっ!!
う〜〜!!

ズズズ
う……ううっ
あっ……
いっ……
いいっ……
はああっ
ダメッ……いくっ
いっちゃうっ

フッ なんでえ 楽しそうじゃねえか……
お〜〜ら!!
ドピュッ
ザ ふ
たまんねえぜ この娘!
あとがつかえてんだ 早く替われ!
ザザ
よお 色男!
こりゃあダンナ! まだ ここの張り込みを?
隠密廻りってのは気が長(なげ)えんだよ

だがお蝶は……
早く助けねえと薬漬けの色狂いにされちまうぜ
色狂いはもとからで……それよりお藤のほうが心配だ
ダンナ！
どういうことだ!?
ダンナ！
んもォ……どこへ行ったのかしら？
男に逃げられたかお藤？
?!
と…父さん!?

キャッ!!
シュル!!
ドタッ
ワシに断りもなく仕事人を使ったそうだな?
だって平次は……父さんのこと探ろうとしたのよ!?
構うなと言ったはずだ……
平次の肉棒がそんなによかったか?
わ…私は別にそんなつもりじゃ……!

ヴズズ

んああ…
あああ…

ズヴッ
ズウッ

あ…ああっ
と…
父さんっ!!

おまえの役目は
この女蔭を使って
ワシに仇なす者を
懐柔することだ

うっ

あうっ

それを
忘れおって
なんたる
ザマ!

あ…

ヴジュ

あん…

あ…いいっ
父さんのが
一番いい〜〜〜っ

ズプッ
ズプッ

当たり前だ
ワシが育てた
女蔭なのだ
からな！

あっ…あっ…

だが……
これが最後だ

他の男に
狂う女蔭になど
用はない……

えっ!?
そんな……
父さん!?

だまれ!!

ズドーンッ

うあぁう

ドプ
ドプ
ドプ
お…お願い
捨てないで……
捨てないで！
ズプ
ズプ
は…あっい…
いくっ…いくう
あぁ〜〜
いっくう〜〜!!

お藤!?

!!

ヌプン

う…

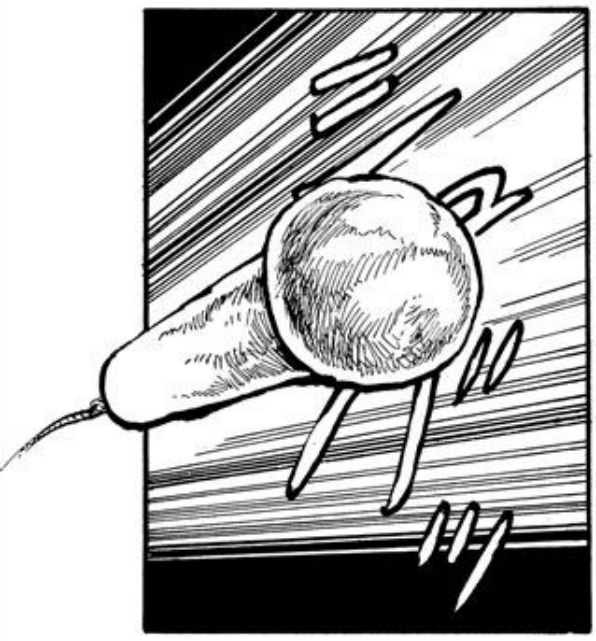
おまえら!?

スタ…
サッ
闇
サッ
闇
ワガママが
過ぎたからって
なにも殺すことは
ねえだろう?
ワシの意に
そぐわぬ者は
始末するのが
掟でな……
!!……おまえ
暗闇半兵衛か!?
…
しかたない
岡っ引きのほうから
始末するか……
おい
待てっ
半兵衛!!
タンッ

ホラ
お蝶
帰るぞ！

いやあ～～～ん
もっとォ～～～ッ

二、三日
放っときゃ
よかった
かな……
舌や指がね
いっぱいなのォ
～～～ッ



!
ガッ
なるほど
お藤を狂わす
だけの男では
あるな……
なんだ
おまえ!?
張り形平次……
今から
おまえはワシの
敵となった!
暗闇に用心しろ
なにを!?
……!
おまえは!!

平次！

無事か!?
ええ……
なんとか

まさか
暗闇半兵衛が
乗るとはね
……
お藤を
殺そうと
しやがった

実の娘を!?
お藤は
半兵衛の情婦(イロ)でも
あったからな
おまえ
恨まれてる
ぜえ……

逸物(いちもつ)を
ぶった切られ
ねえように
用心しな！
ご…ご冗談を
！

あ～～ん
なんか
入れてえ～～

とりあえず
あの穴
にでも
収めとけや
え？

おわり